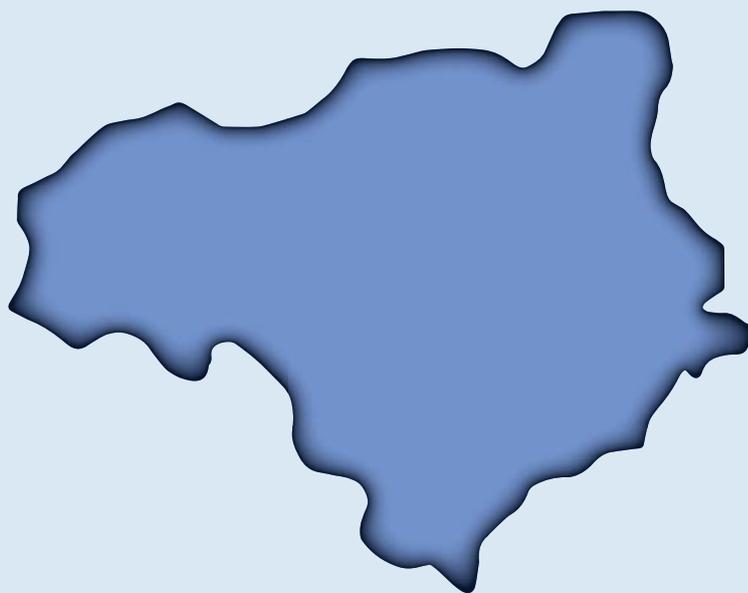


# 「地域包括ケアシステム」の深化・推進 に向けて 2018

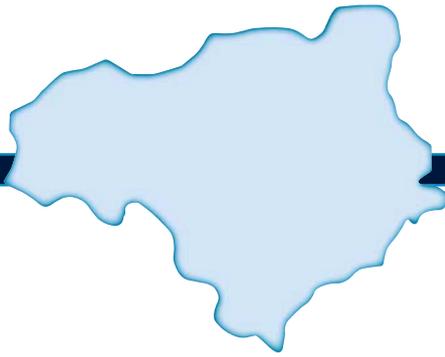
地域を支える高齢者から拓がる



“笑顔あふれるとくしま”の実現

徳島県 (2019年3月)

# はじめに



徳島県では、2018年度から3年間を計画期間とする「とくしま高齢者いきいきプラン」を策定し、その基本理念として、「地域を支える高齢者から広がる“笑顔あふれるとくしま”の実現」を掲げ、各種施策を積極的に展開しているところです。

とりわけ、高齢者人口がピークを迎える2020年を目処に、高齢者の皆さまができる限り、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、日常生活の支援が、地域で包括的に提供される仕組み（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

今後、「人口減少」が急速に進行する一方で、「認知症高齢者」や「一人暮らし高齢者」は、ますます増加すると推計されており、この「地域包括ケアシステム」を更に深化・推進させていくことが求められています。

そこで、この度、本県の「高齢化等の動向」及び地域包括ケアシステムの「取組概要」等について取りまとめました。

関係機関の皆さまをはじめ、県民の皆さまと共有することで、高齢者の皆さまがいきいきと暮らす「笑顔あふれる長寿社会」の一助になれば幸いです。

**2019年3月**

**徳島県 保健福祉部 長寿いきがい課 いきがい・活躍推進室**

# 目次

## 徳島県の高齢化等の状況

➤ 徳島県の人口の推移及び推計	P1
➤ 高齢化率の状況(市町村別)	P1
➤ 高齢者世帯数の推移及び推計	P2
➤ 合計特殊出生率の推移	P2
➤ 徳島県の要介護(要支援)認定者数(率)推移	P3
➤ 調整済み認定率(要介護度別・2017年)	P3
➤ 平均寿命の推移	P4
➤ 市町村別平均寿命	P4
➤ 健康寿命の推移	P5
➤ 週1回以上の「通いの場」の参加率	P6
➤ 活動内容別「通いの場」の参加状況	P6

## 「地域包括ケアシステム」深化・推進に向けた取組概要

➤ 「地域包括ケアシステム」って何？	P8
➤ 「地域包括支援センター」をご存じですか？	P8
➤ 「地域包括支援センター」一覧	P9
➤ 支え合いによる「地域包括ケアシステム」の推進	P10
➤ 「地域ケア会議」って何？	P10
➤ 「自助」「互助」を高める「介護予防」	P11
➤ 地域の高齢者の暮らしを支える「生活支援」	P11
➤ 認知症になっても安心して生活できる社会の実現を目指して	P12
➤ みんなでとらえあひ取り組む♪認知症に優しい徳島づくり	P13
➤ 「認知症カフェ」一覧	P14～P15

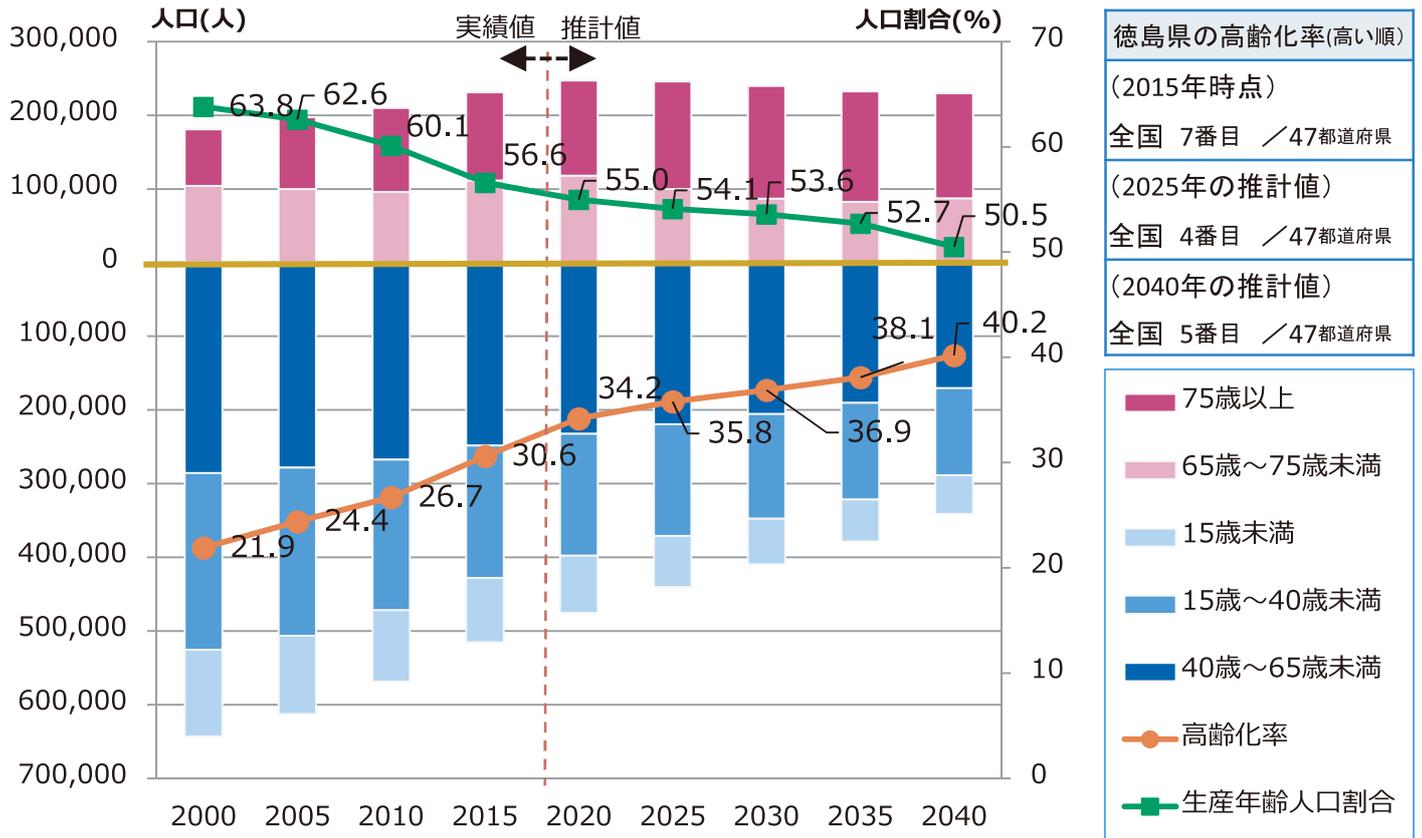
## 徳島県地域包括ケアシステムサポート事業における取組紹介

➤ 海陽町	P17
➤ 三好市(三好市社会福祉協議会)	P18
➤ 三好市(みよし地域包括支援センター)	P19
➤ 阿波市	P20～P21
➤ 北島町	P22
➤ 神山町	P23
➤ 東みよし町	P24
➤ 那賀町	P25

# 徳島県の高齢化等の状況

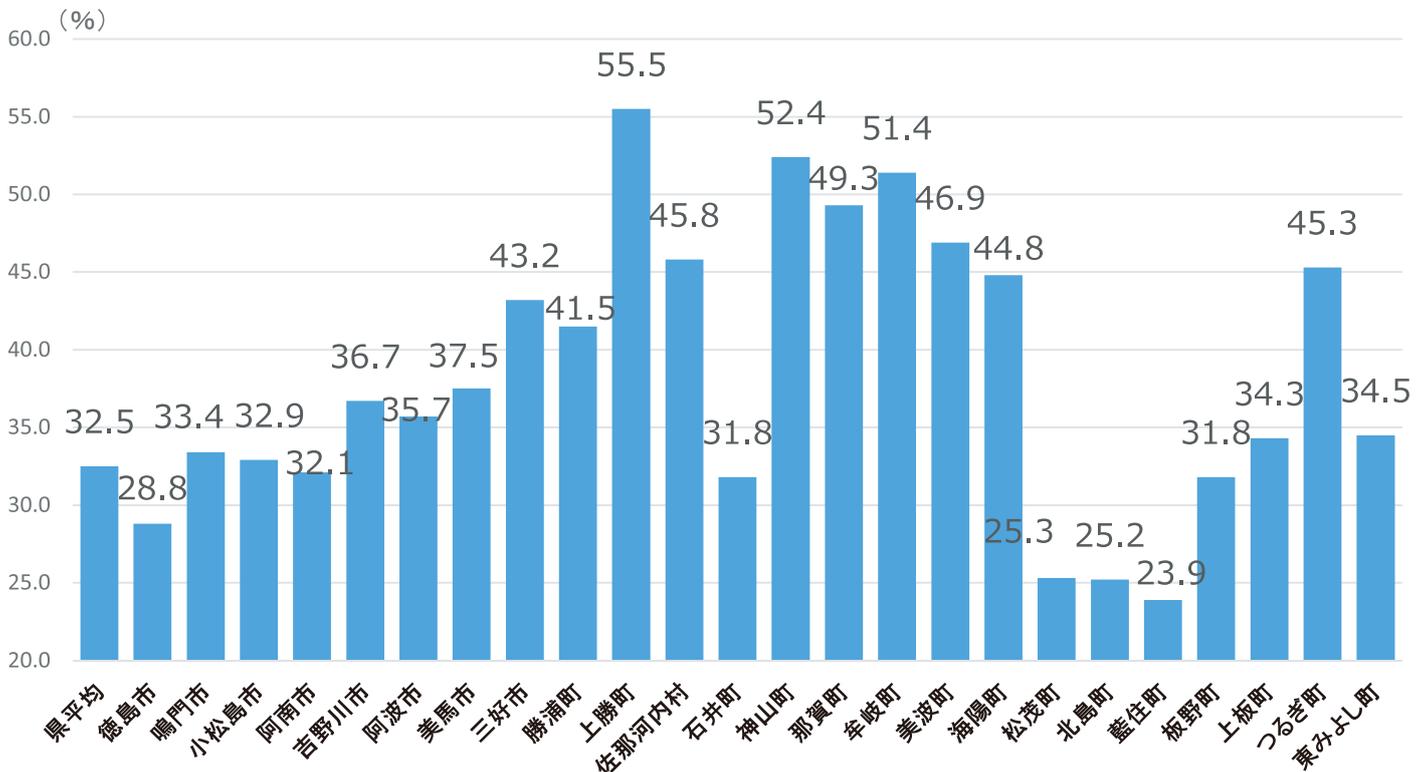
➤ 徳島県の人口の推移及び推計 .....	P1
➤ 高齢化率の状況(市町村別) .....	P1
➤ 高齢者世帯数の推移及び推計 .....	P2
➤ 合計特殊出生率の推移 .....	P2
➤ 徳島県の要介護(要支援)認定者数(率)推移 .....	P3
➤ 調整済み認定率(要介護度別・2017年) .....	P3
➤ 平均寿命の推移 .....	P4
➤ 市町村別平均寿命 .....	P4
➤ 健康寿命の推移 .....	P5
➤ 週1回以上の「通いの場」の参加率 .....	P6
➤ 活動内容別「通いの場」の参加状況 .....	P6

# 徳島県の人口の推移及び推計



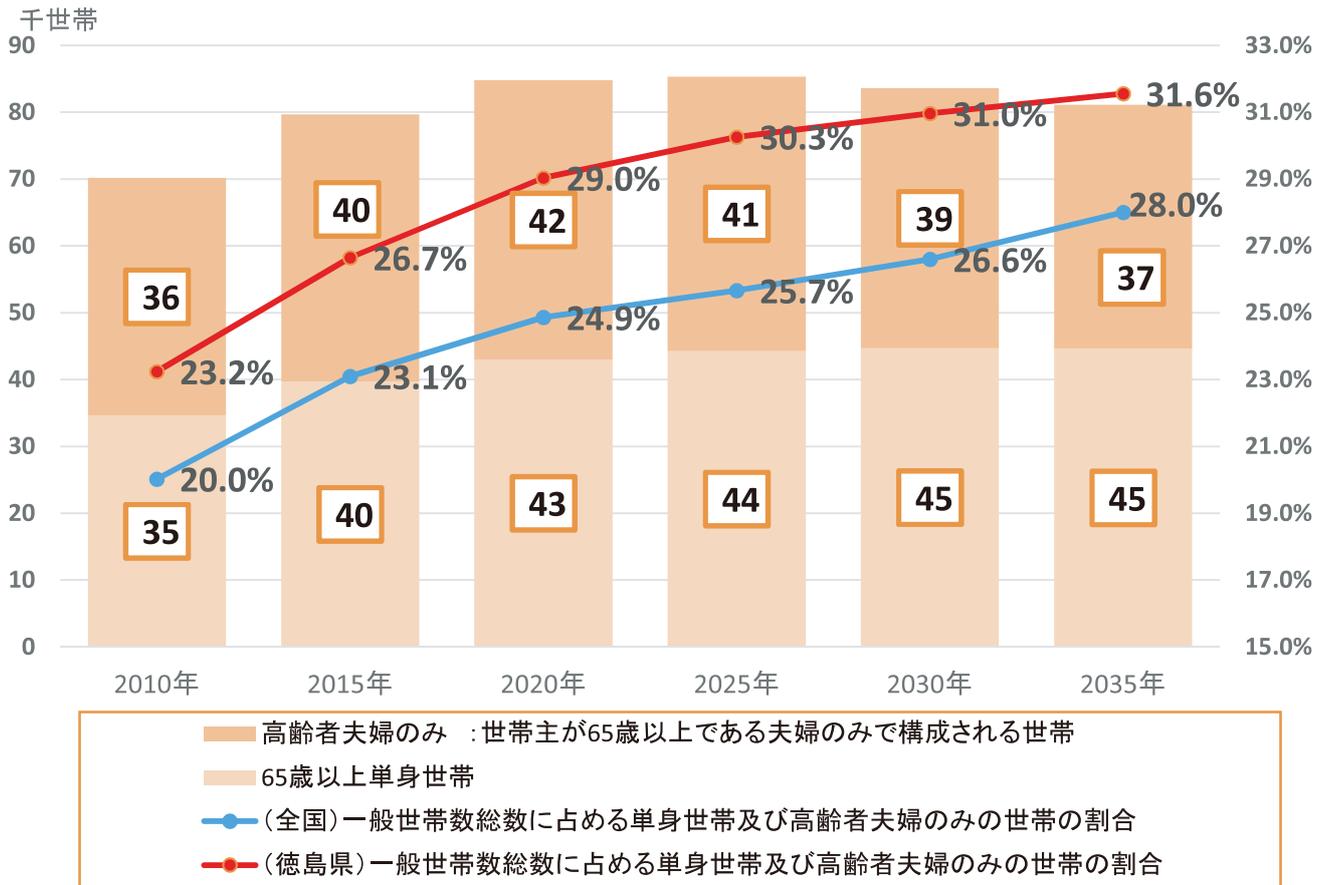
(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」  
 2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

## 高齢化率の状況（市町村別）

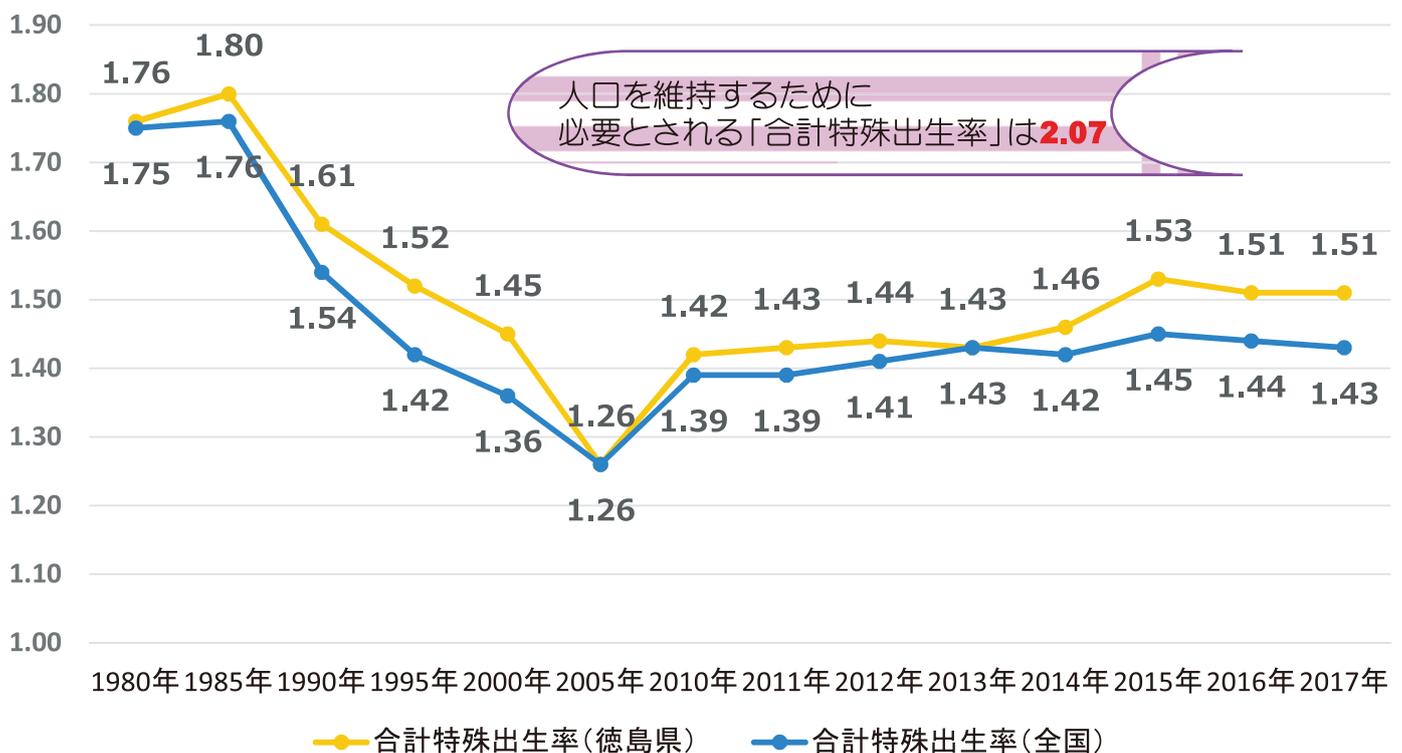


出典：「徳島県人口移動調査結果報告書」県統計データ課，算出方法：65歳以上人口÷人口総数×100（平成30年1月1日）

# 高齢者世帯数の推移及び推計



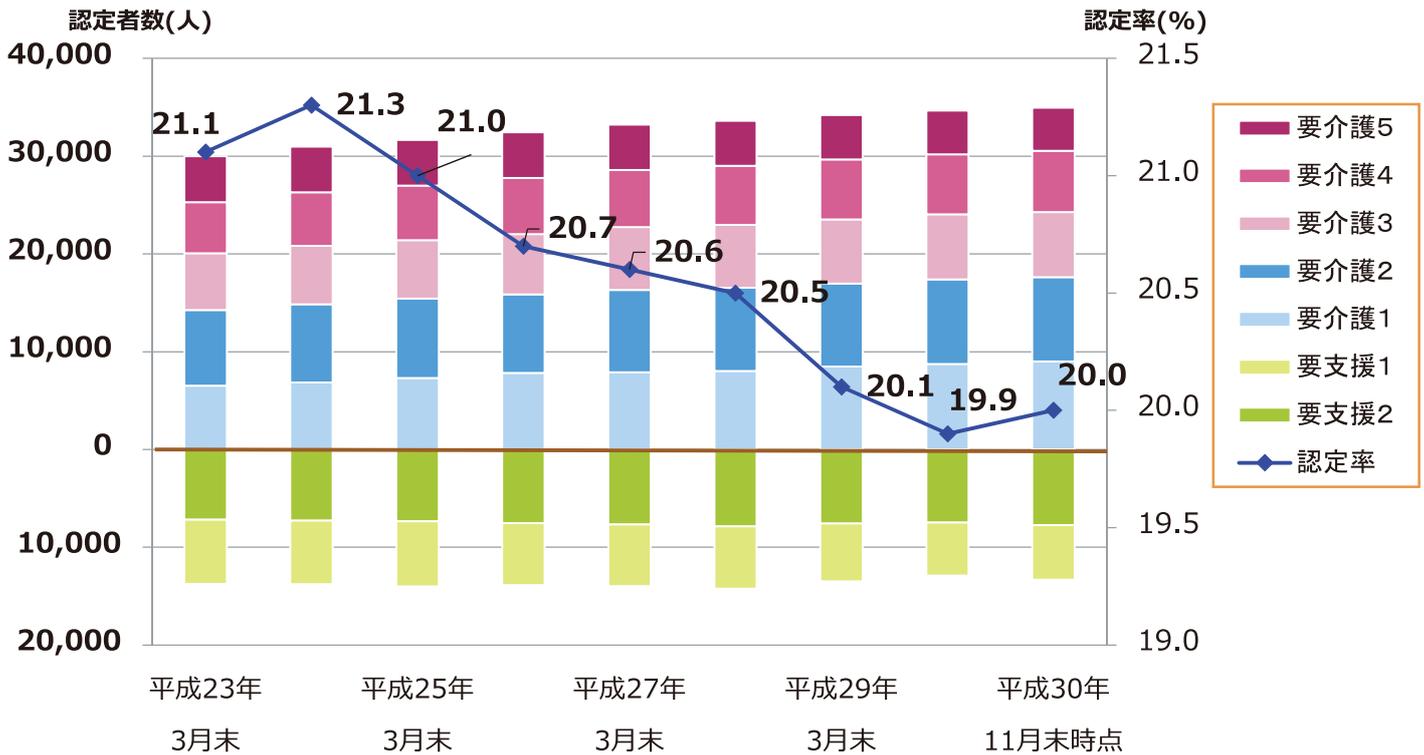
# 合計特殊出生率の推移



出典: 厚生労働省「人口動態統計」

※ 「合計特殊出生率」: 人口統計上の指標で、一人の女性(15歳~49歳)が一生に生む子どもの数  
 人口を維持するために必要とされる「合計特殊出生率」は2.07とされている。

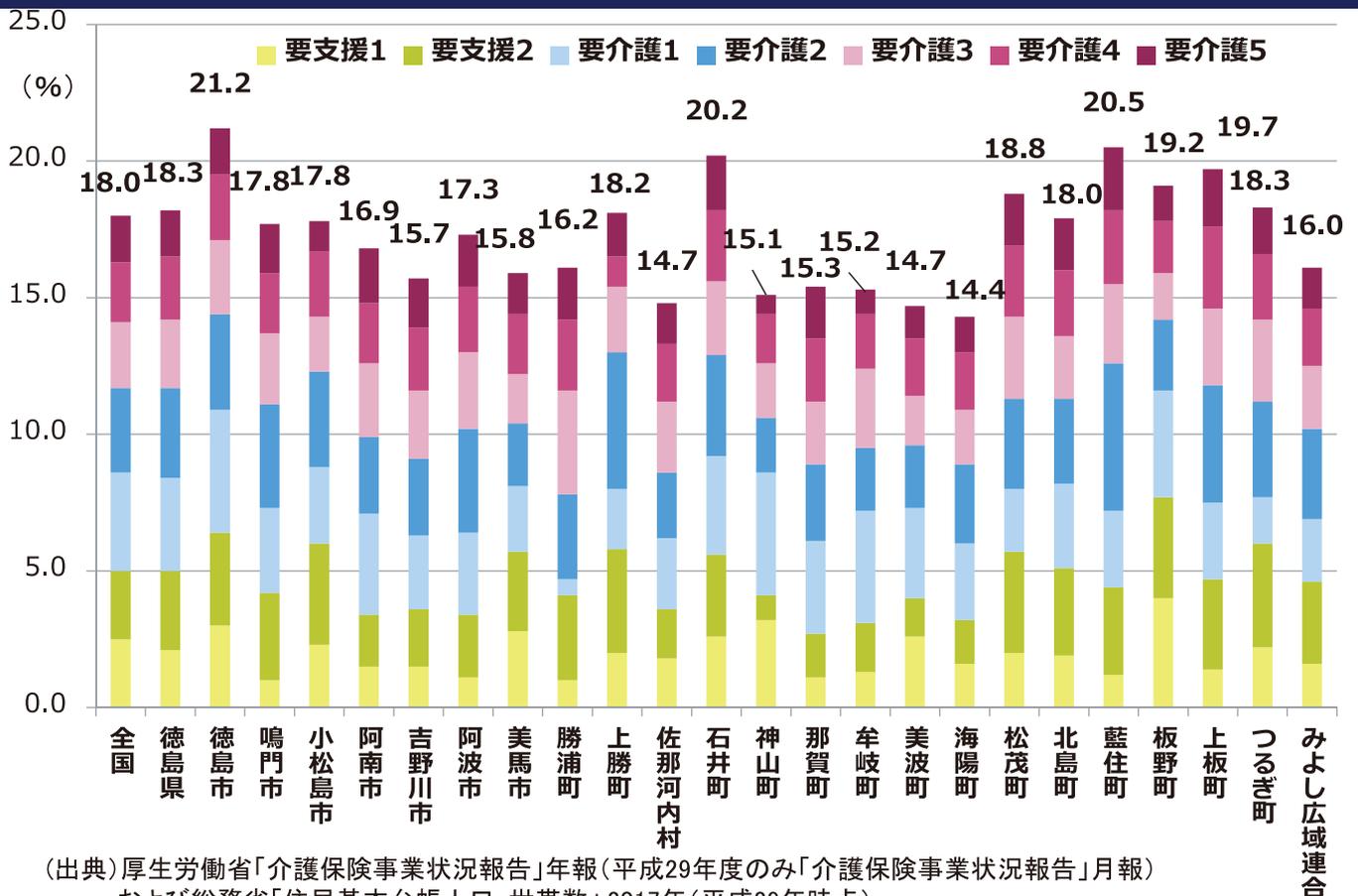
# 徳島県の要介護（要支援）認定者数（率）推移



(出典) 平成22年度から平成28年度: 厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」  
 平成29年度: 「介護保険事業状況報告(3月月報)」  
 平成30年度: 直近の「介護保険事業状況報告(月報)」

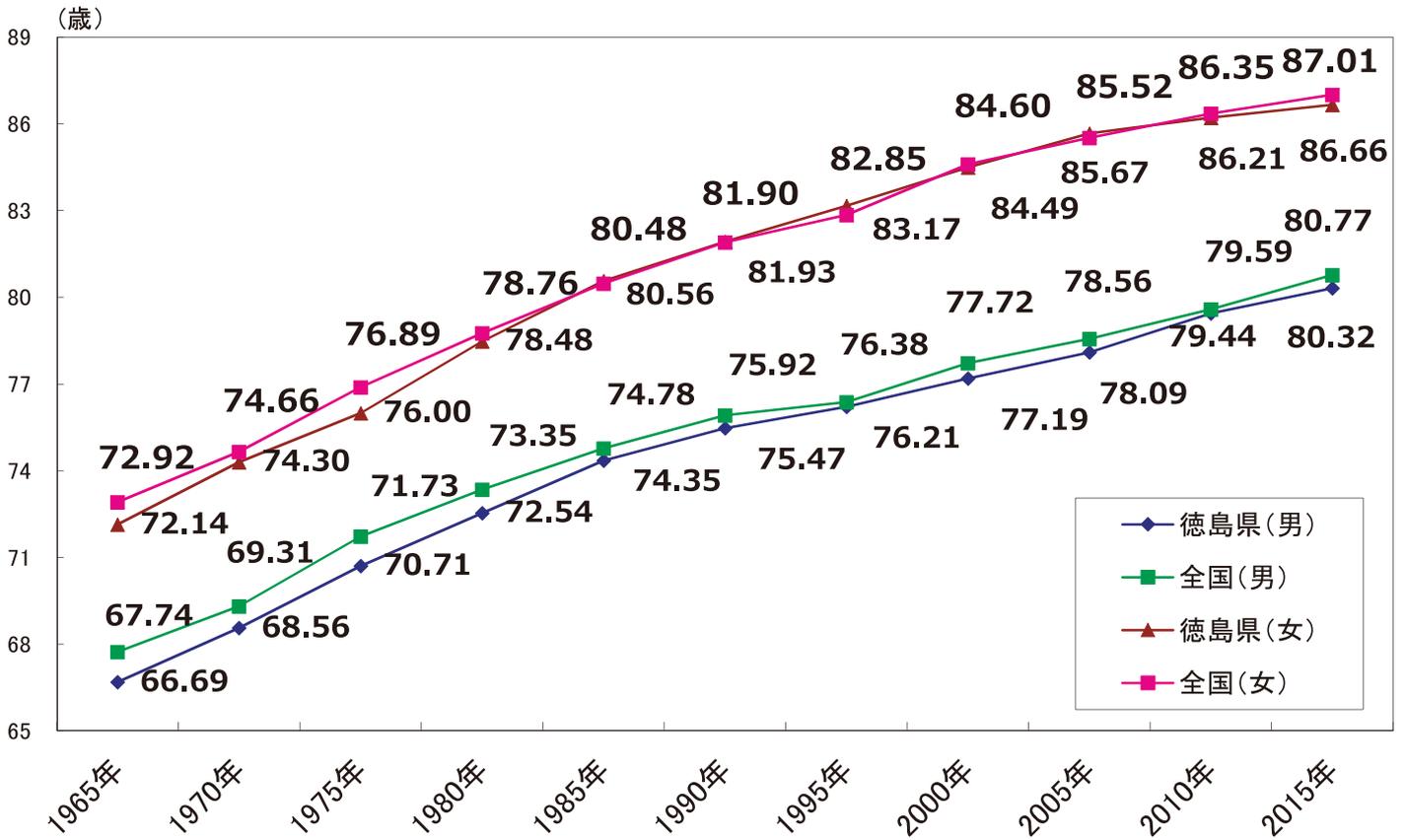
徳島県の認定率(高い順)  
 (平成30年11月末時点)  
 全国 10番目 / 47都道府県

# 調整済み認定率（要介護度別）（2017年）

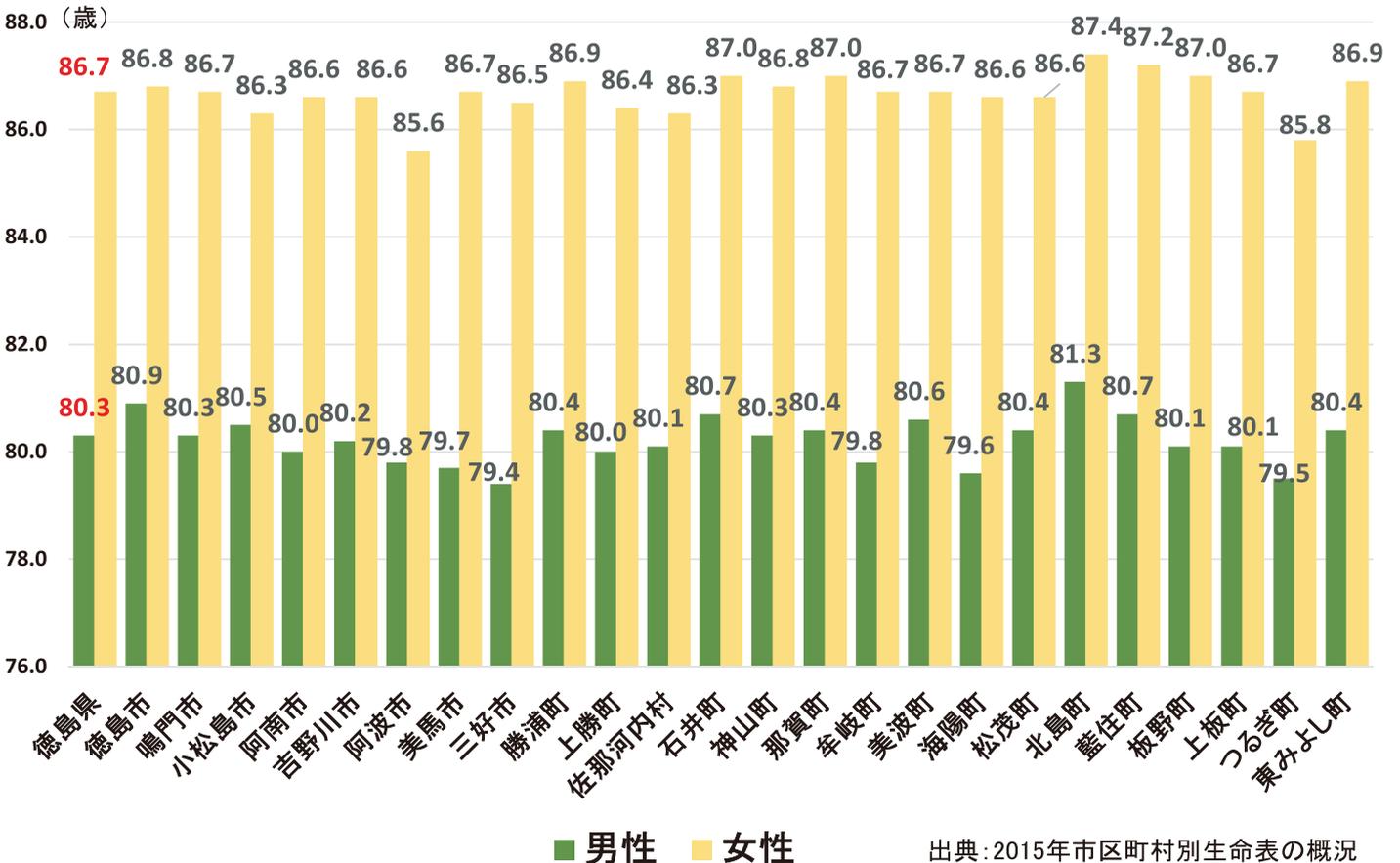


(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(平成29年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)  
 および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」, 2017年(平成29年時点)

# 平均寿命の推移



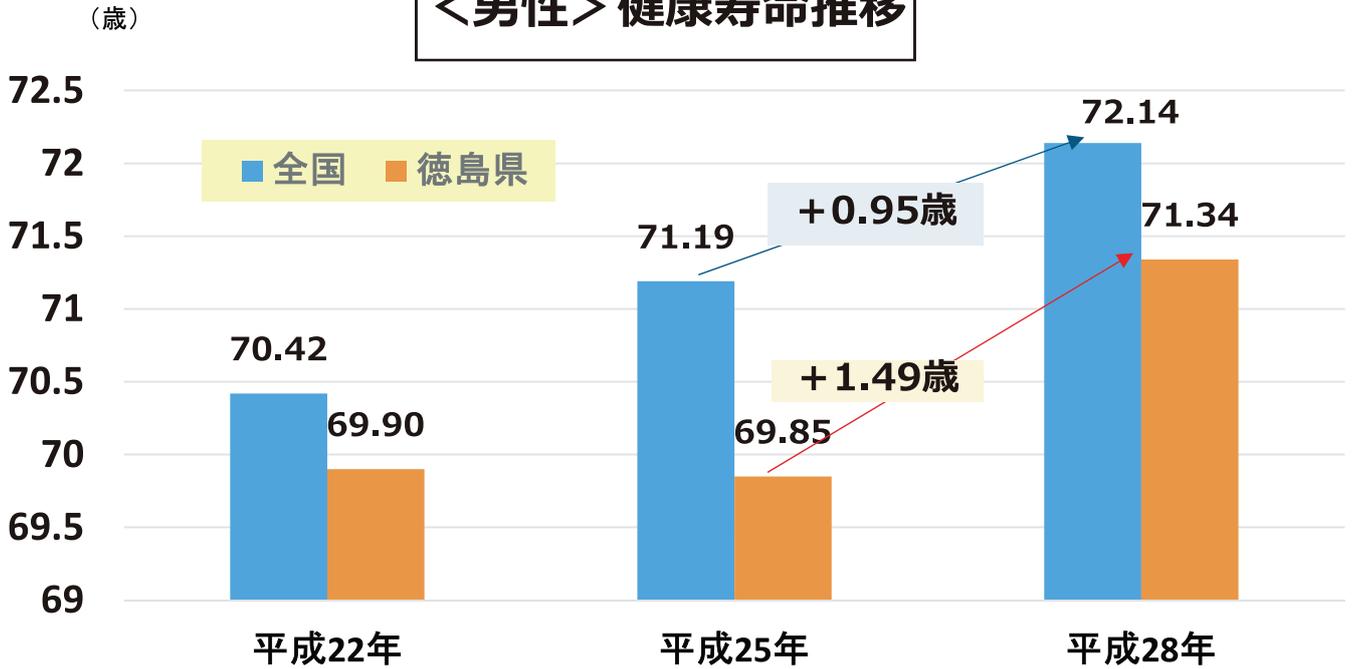
# 市町村別平均寿命



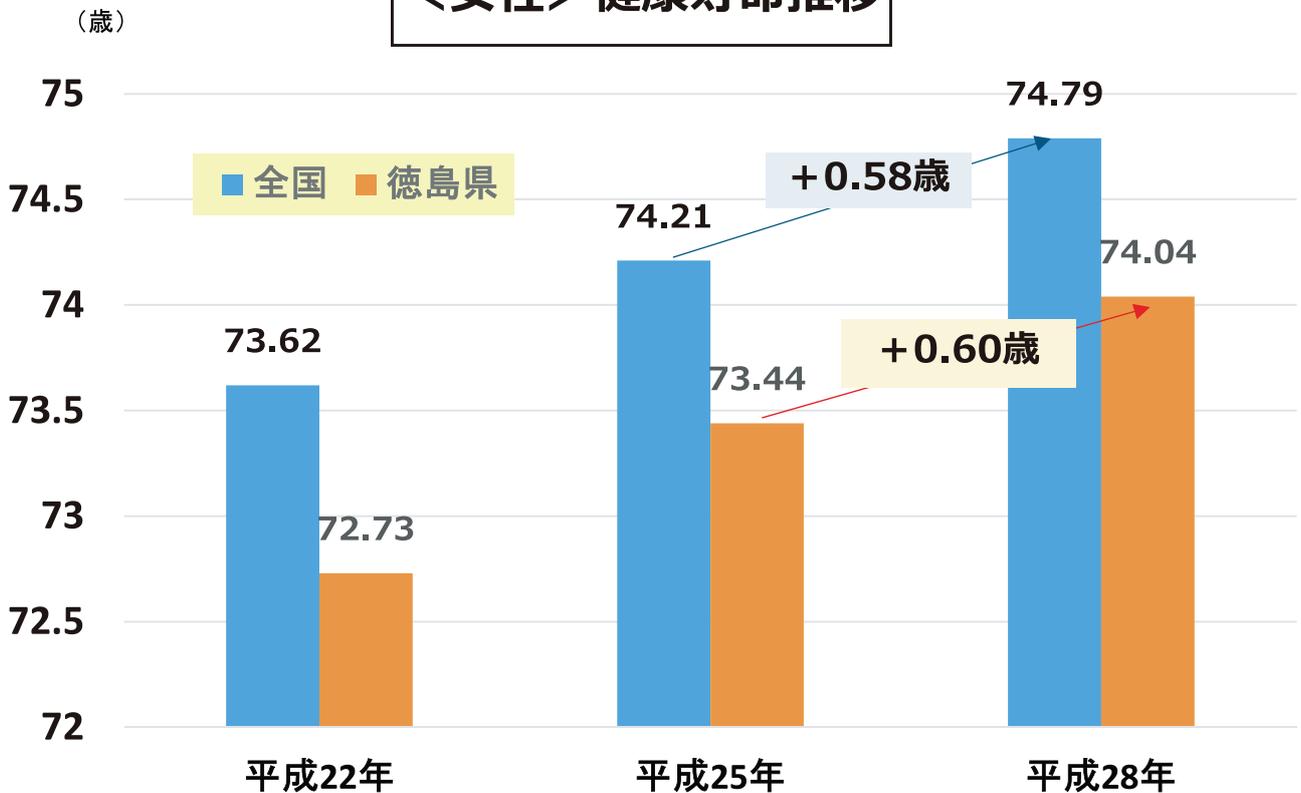
出典: 2015年市区町村別生命表の概況

# 健康寿命の推移

## <男性> 健康寿命推移

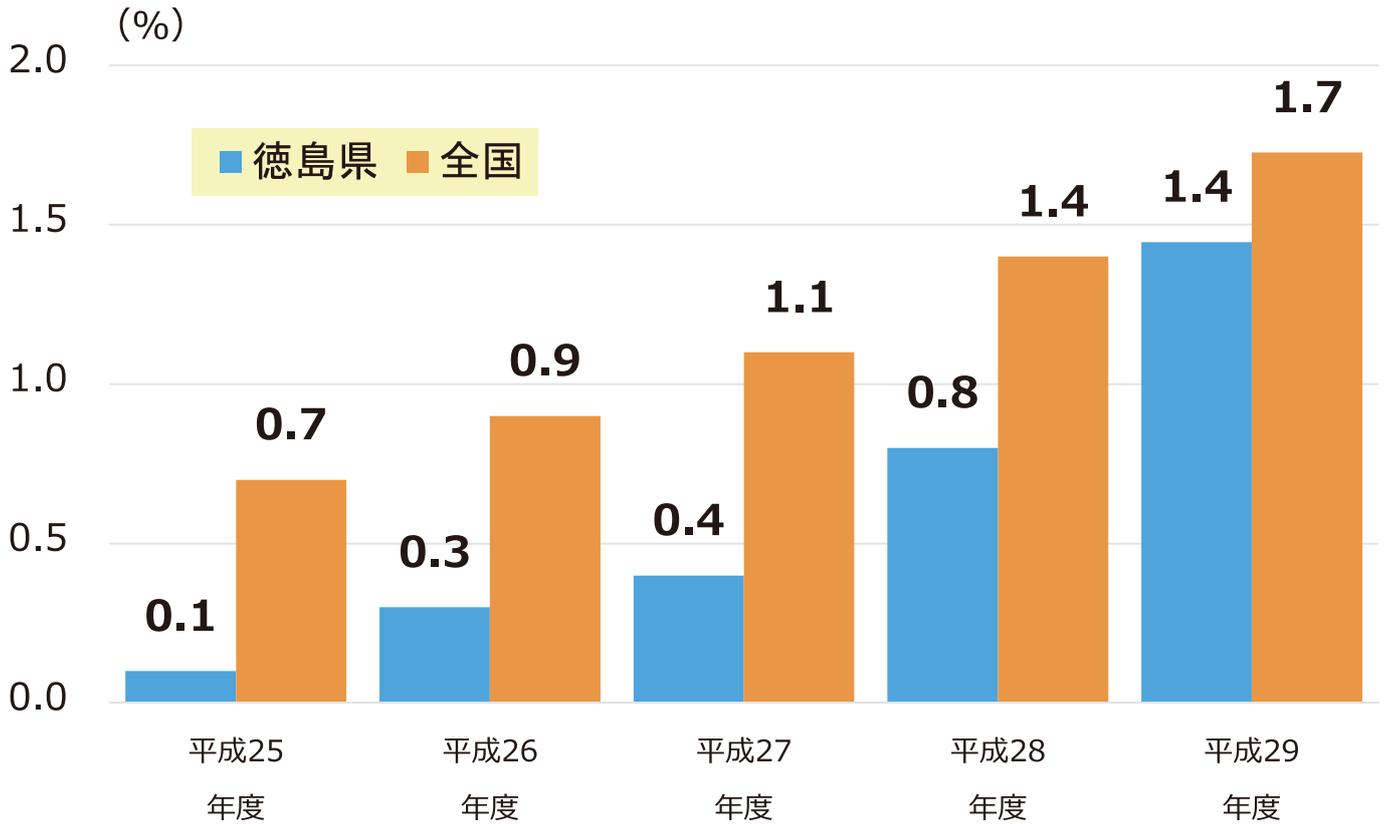


## <女性> 健康寿命推移



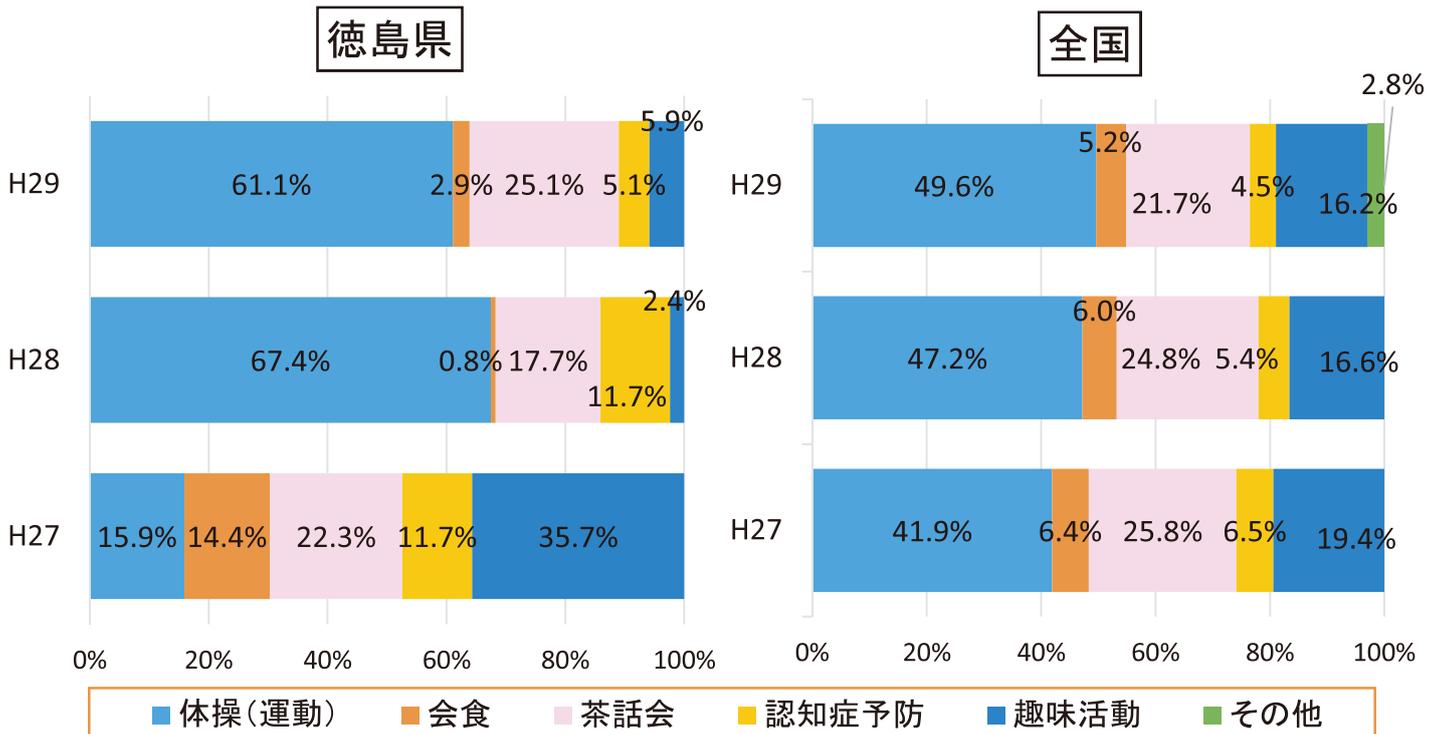
(出典)厚生労働省「国民生活基礎調査」

# 週1回以上の「通いの場」の参加率



(出典)厚生労働省「介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査」および総務省「住民基本台帳」

# 活動内容別「通いの場」の参加状況



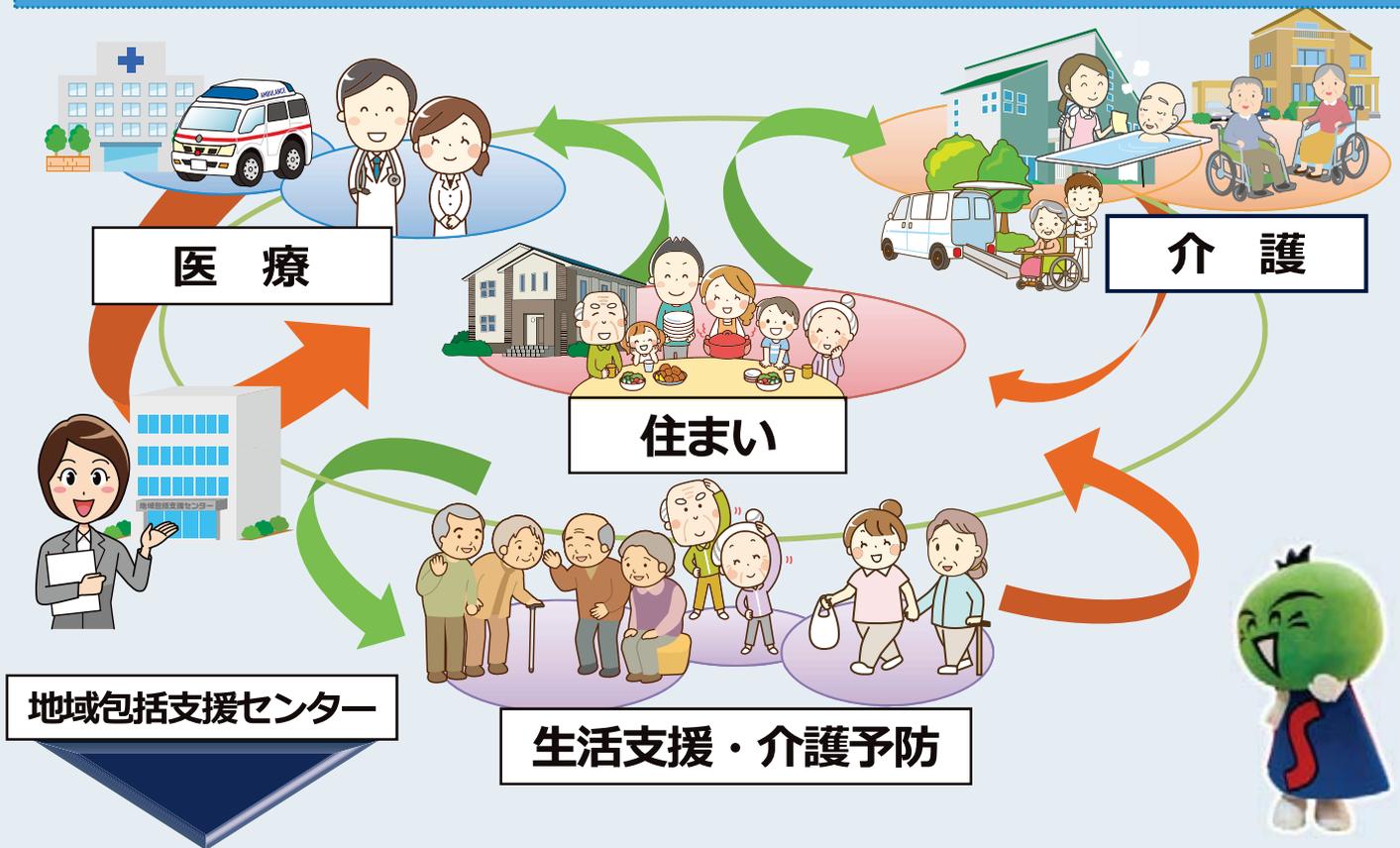
(出典)厚生労働省「介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査」

# 「地域包括ケアシステム」 深化・推進に向けた取組概要

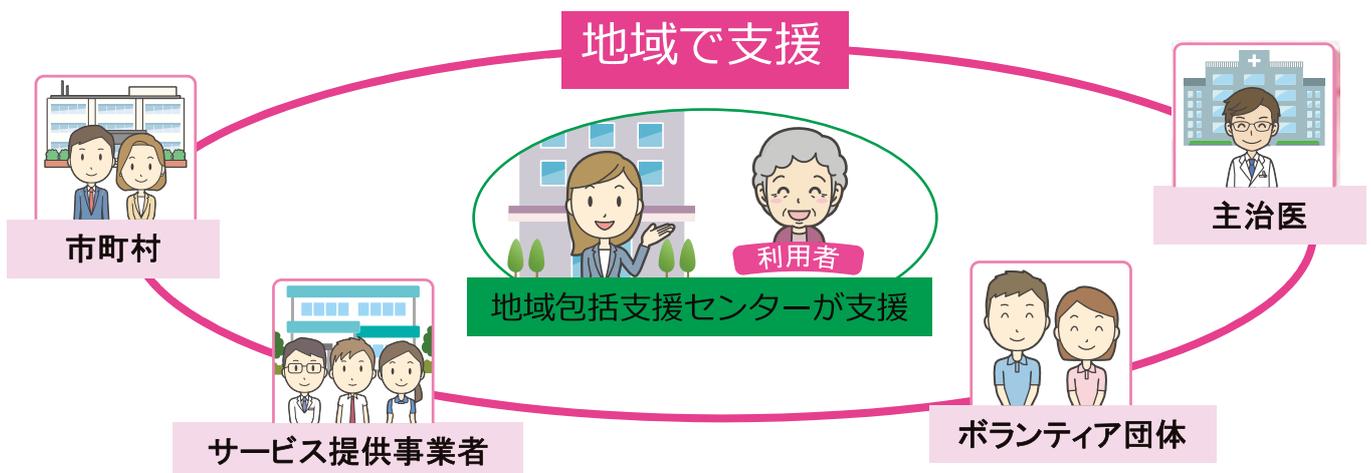
- 「地域包括ケアシステム」って何？ ..... P8
- 「地域包括支援センター」をご存じですか？ ..... P8
- 「地域包括支援センター」一覧 ..... P9
- 支え合いによる「地域包括ケアシステム」の推進 ..... P10
- 「地域ケア会議」って何？ ..... P10
- 「自助」「互助」を高める「介護予防」 ..... P11
- 地域の高齢者の暮らしを支える「生活支援」 ..... P11
- 認知症になっても安心して生活できる社会の実現を目指して ..... P12
- みんなでともに取り組む♪認知症に優しい徳島づくり ..... P13
- 「認知症カフェ」一覧 ..... P14～P15

# 「地域包括ケアシステム」って何？

徳島県では、介護が必要な状態となっても、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができるよう医療、介護、介護予防、住まい、日常生活の支援が、地域で包括的に提供されるしくみ（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。



## 「地域包括支援センター」をご存じですか？



「地域包括支援センター」は、地域の関係機関と連携し、皆さまの生活をサポートしています。

- 介護予防ケアマネジメント：要支援に認定された方のケアプラン作成や生活機能が低下している方の総合事業の利用を支援
- 権利擁護：高齢者の方に対する虐待や消費者被害などの防止及び必要な援助
- 総合相談支援：地域の高齢者に関する様々な相談を解決するための適切な支援
- 包括的・継続的ケアマネジメント：適切なサービスが提供されるよう、地域のケアマネジャーへの助言や支援

# 「地域包括支援センター」一覧

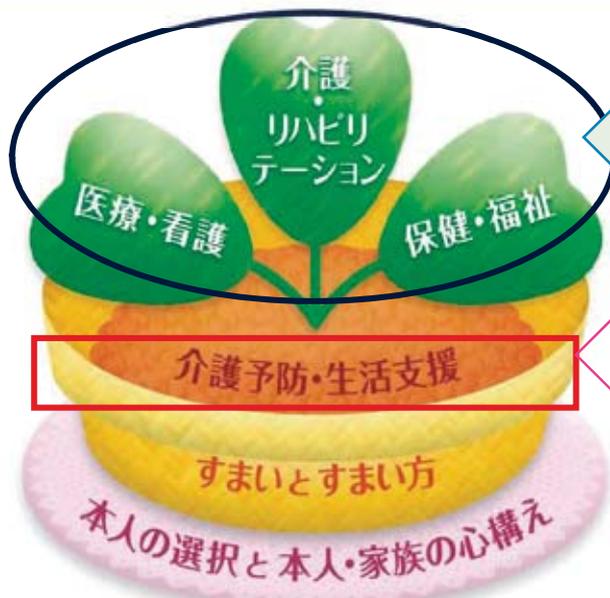
2019年4月1日現在

地域包括支援センター名称	担当地区	電話
徳島市地域包括支援センター	徳島市	088-624-7775
鳴門市基幹型地域包括支援センター	鳴門市	088-615-1417
鳴門市地域包括支援センターおおあさ	鳴門市(大麻町)	088-689-3738
鳴門市地域包括支援センター貴洋会	鳴門市(撫養町川東地区, 里浦町)	088-683-1075
鳴門市地域包括支援センターひだまり	鳴門市(大津町, 撫養町川西地区(木津))	088-686-1139
鳴門市地域包括支援センター緑会	鳴門市(撫養町川西地区(木津除く), 鳴門町西地区)	088-685-1555
鳴門市地域包括支援センターやまかみ	鳴門市(瀬戸町, 北灘町, 鳴門町東地区)	088-683-6727
小松島市社会福祉協議会地域包括支援センター	小松島市	0885-33-4040
基幹型阿南高齢者お世話センター	阿南市	0884-23-7288
阿南東部高齢者お世話センター	阿南市(富岡, 宝田, 中野島地区)	0884-22-4577
阿南中部高齢者お世話センター	阿南市(見能林, 橘, 桑野地区)	0884-23-3728
阿南西部高齢者お世話センター	阿南市(大野, 長生, 加茂谷地区)	0884-23-5046
阿南南部高齢者お世話センター	阿南市(新野, 福井, 椿地区)	0884-36-3634
阿南北部第1高齢者お世話センター	阿南市(伊島町, 那賀川町, 羽ノ浦町(岩脇, 古庄, 古毛, 明見, 春日野, 西春日野))	0884-42-2900
阿南北部第2高齢者お世話センター	阿南市(羽ノ浦町(中庄, 宮倉))	0884-44-6836
吉野川市地域包括支援センター	吉野川市	0883-22-2265
阿波市地域包括支援センター	阿波市	0883-36-6543
美馬市地域包括支援センター	美馬市	0883-52-5613
勝浦町地域包括支援センター	勝浦町	0885-42-3700
上勝町地域包括支援センター	上勝町	0885-44-5112
佐那河内村地域包括支援センター	佐那河内村	088-679-3383
石井東部地域包括支援センター	石井町(石井地区(字重松を除く), 高川原地区)	088-674-7265
石井西部地域包括支援センター	石井町(藍畑地区, 浦庄地区, 高原地区, 石井字重松地域)	088-675-3722
神山町地域包括支援センター	神山町	088-676-1185
那賀町地域包括支援センター	那賀町	0884-62-3892
牟岐町地域包括支援センター	牟岐町	0884-72-1600
美波町地域包括支援センター	美波町	0884-77-1171
海陽町地域包括支援センター	海陽町	0884-73-0620
松茂町地域包括支援センター	松茂町	088-683-4566
北島町地域包括支援センター	北島町	088-698-8951
藍住町地域包括支援センター	藍住町	088-637-3175
板野町地域包括支援センター	板野町	088-672-1026
上板町地域包括支援センター	上板町	088-694-5597
つるぎ町地域包括支援センター	つるぎ町	0883-62-3111
みよし地域包括支援センター	三好市	0883-72-5877
東みよし町包括支援センター	東みよし町	0883-76-5580

# 支え合いによる「地域包括ケアシステム」の推進

～支え合いによる～

「地域包括ケアシステム」は「**葉っぱ**事業」と「**土**事業」



「葉っぱ」である専門職は「**まとまる**」

共助

公助

「土」事業は「**まきこむ・まじわる**」

自助

互助

共助

公助

土事業では「四助」すべてが関わりますが、「自助」や「互助」の役割がより重要です。

**自助**：・自分のことを自分でする、自身や家族による対応  
・自らの健康管理（セルフケア）

**互助**：・ボランティア活動、住民組織の活動

**共助**：・介護保険・医療保険サービス

**公助**：・自治体等が提供するサービス

三菱UFJリサーチ&コンサルティング「<地域包括ケア研究会>地域包括ケアシステムと地域マネジメント」  
(地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業)、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

## 「地域ケア会議」って何？

「地域ケア会議」は専門職が知恵を持ち寄る場

～個人の悩みは、地域の悩み その解決は、地域を変える～

参考：厚生労働省・これからの地域づくり



市町村等における「地域ケア会議」実施状況

徳島県独自調査(2019年2月)



■ 「地域ケア会議」とは、

- ・ 主催は市町村や地域包括支援センター等
- ・ 医療や介護の専門職に加え、地域包括支援センターや生活支援コーディネーター等の多くの職種が一堂に会します。
- ・ 個々の高齢者の課題を明らかにし、効果的な支援を幅広く検討しています。

■ 個別課題の積み重ねから地域課題を発見し、市町村としての政策形成につなげていくことも期待されています。

■ 困難事例個別ケア会議⇒「**解決力**」の強化

■ 介護予防個別ケア会議⇒「**予防力**」の強化

■ 地域包括ケア推進会議⇒「**地域力**」の強化

# 「自助」「互助」を高める「介護予防」

## 体操等の「通いの場」が、まちを変える

- 参加すること、体操することで、元気になる
- 集まることで、地域がつながる
- つながる地域が、まちを変える



### まずは「通いの場」づくりから

- ★ 例えば、週1回集まって、30分～60分程度の軽い体操 + お茶を飲む
- ★ 歩いて5～10分の身近な場所で♪
- ★ 中心は70代～90代の人で誰でも参加可能
- ★ 体操以外に、料理教室、合唱、手芸などのメニューもOK

出典：厚生労働省・これからの地域づくり

### 市町村も応援しています♪



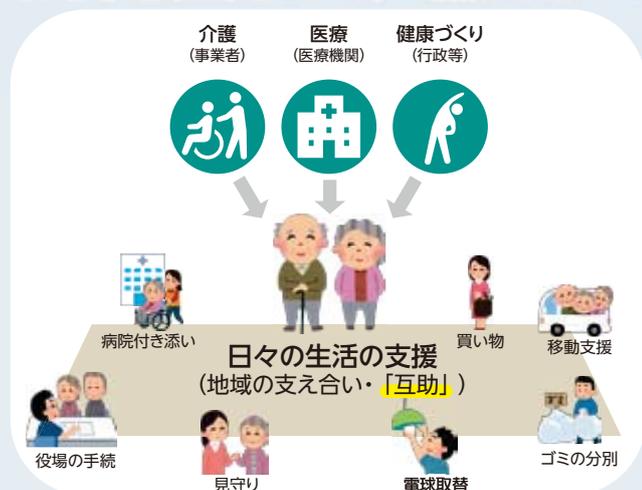
住民主体の通いの場で  
介護予防体操を実施

口腔機能向上に関する取組を実施  
(一般介護予防事業)

高齢者の低栄養予防に関する取組を実施  
(一般介護予防事業)

## 地域の高齢者の暮らしを支える「生活支援」

地域に既にある「互助」を見つけ、育む。  
制度を活用して、新たな「互助」を生み出し、育てていく。



県内の生活支援コーディネーターが  
集まって情報交換を行い、  
連携を深めています♪

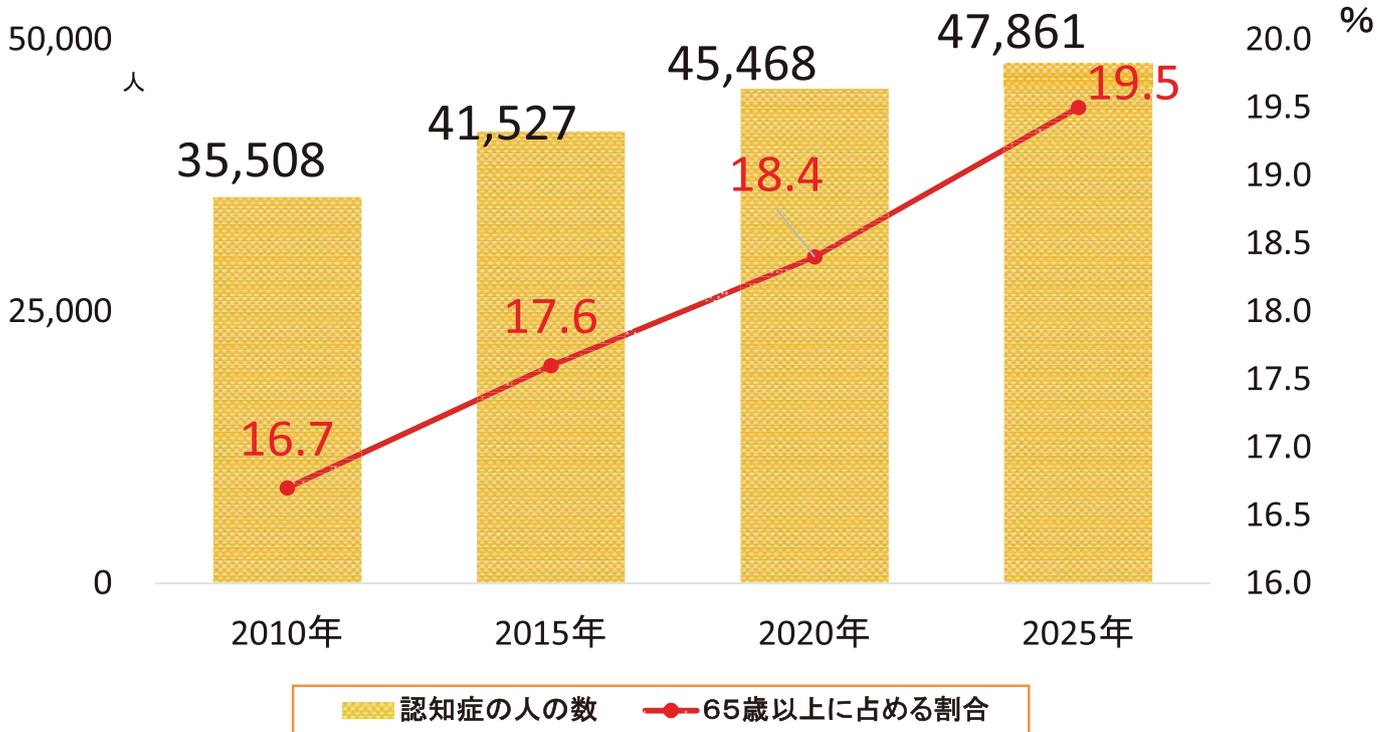


行政と住民がともに「まちづくり」について考え、  
必要なサービスや資源を拡大していくため、お住まいの地域には、  
「生活支援コーディネーター」が配置され積極的に活動しています♪

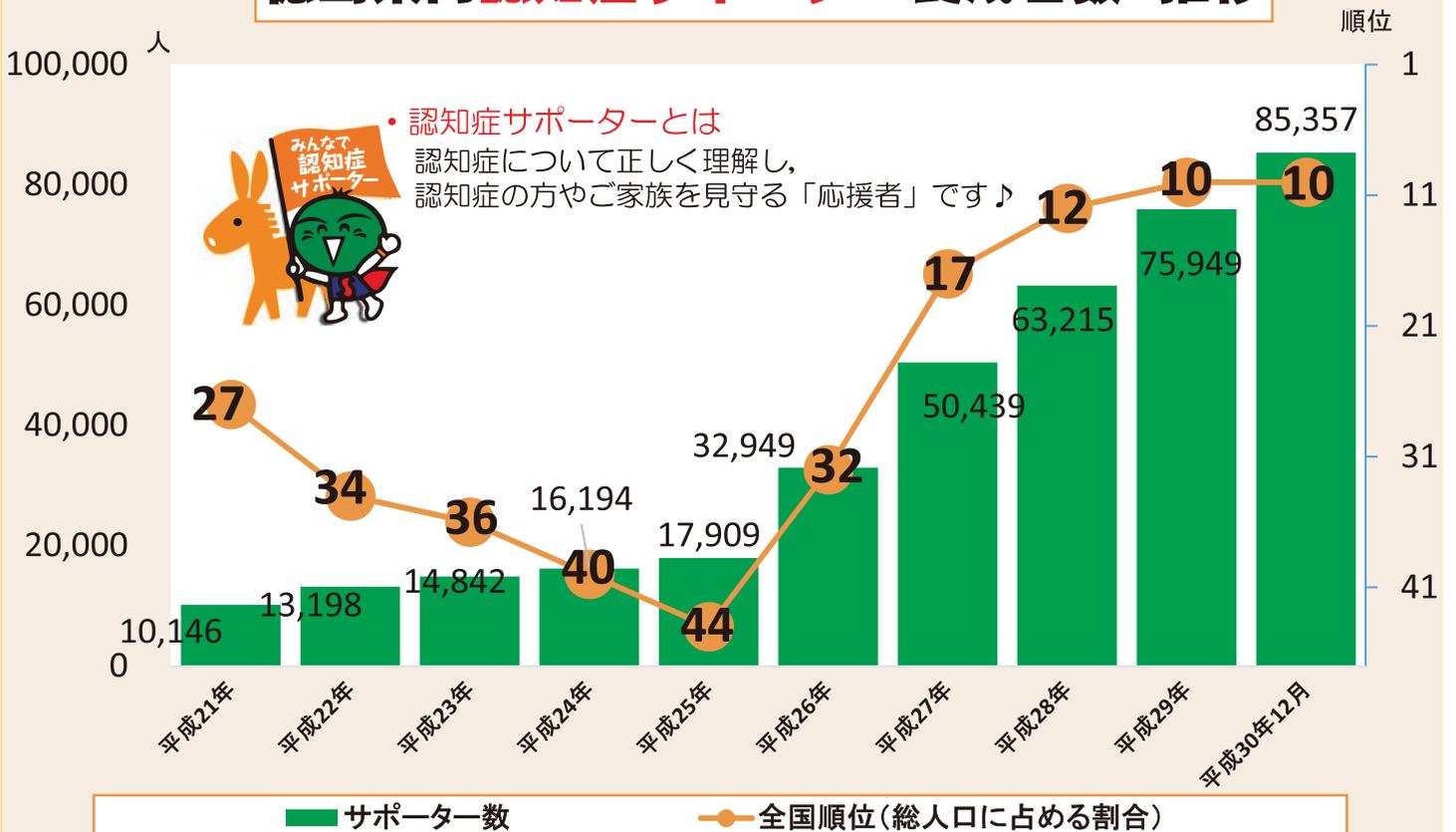
出典：厚生労働省・これからの地域づくり

# 「認知症」になっても 安心して生活できる社会の実現を目指して

## 徳島県内認知症高齢者の将来推計



## 徳島県内認知症サポーター養成者数 推移



# みんなでもとにも取り組む♪ 認知症に優しい徳島づくり

## 「認知症サポーター養成講座」って？

内 容： 認知症の症状、診断や治療、対応の仕方について  
 時 間： おおよそ60分～90分程度  
 場 所： 講師(キャラバン・メイト) が出向きます  
 費 用： 無料



## 「認知症サポーター養成協力事業所」って？

徳島県では、次の登録基準を満たす事業所を「認知症サポーター」養成協力事業所として募集しています♪  
 (1) 「サポーターが10人以上」いる事業所⇒「ブロンズ事業所」  
 (2) 「サポーターが30人以上」いる事業所⇒「シルバー事業所」  
 (3) 自ら養成講座を実施できる  
 「キャラバン・メイト」が1人以上いる事業所⇒「ゴールド事業所」



## 「認知症カフェ」って？

認知症の方やご家族にとっての「交流の場」です。  
 県内に46か所あります♪⇒ ○ページ参照

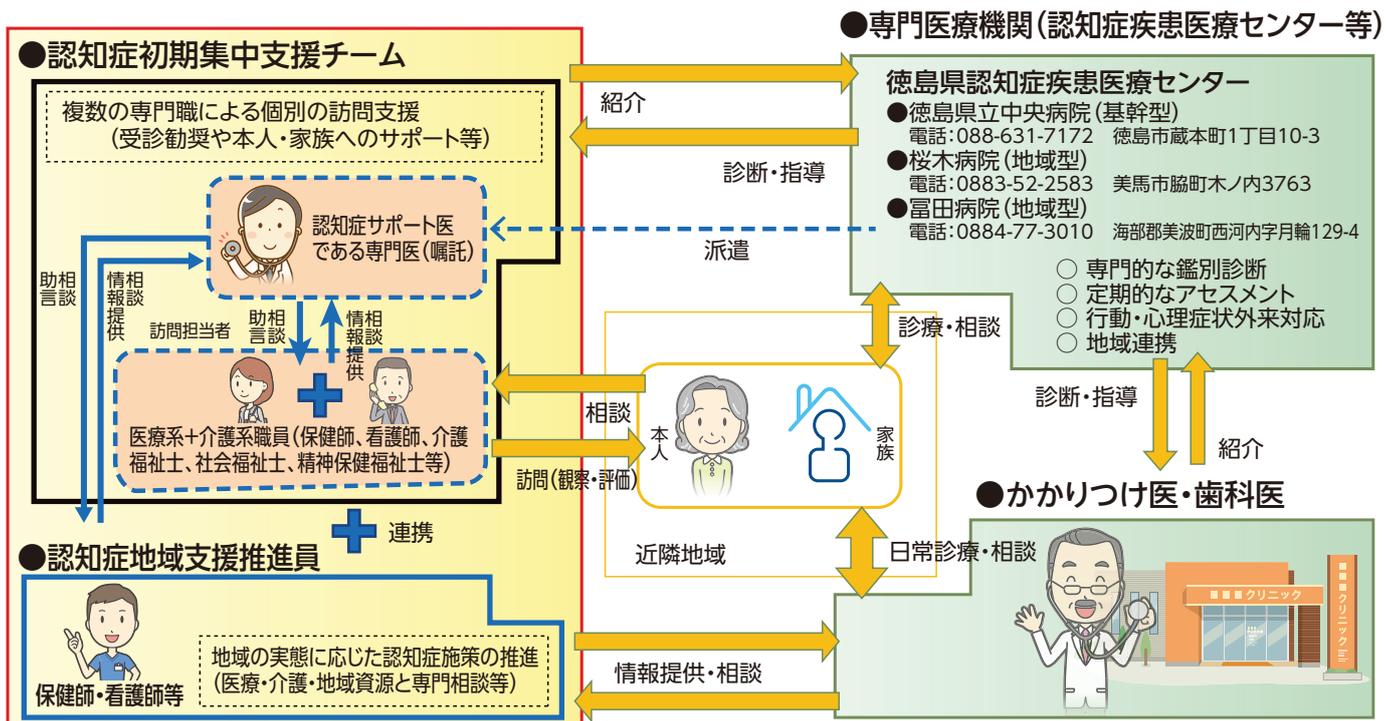
詳しくはこちら



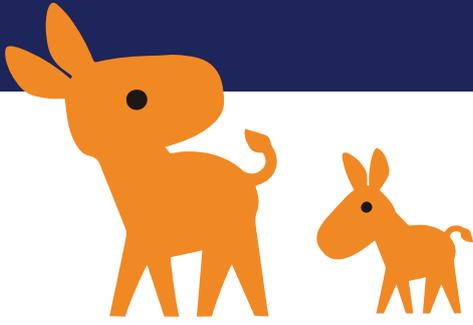
## 「認知症コールセンター」って？

認知症に対するご家族やご本人の不安や悩みをご相談ください。  
 (☎ 088-678-4707) 月～金, 10:00～16:00  
 若年性認知症コーディネーターへのご相談もこちらにどうぞ♪

## 平成30年4月から県内全市町村でスタート！ 早期診断・早期対応のための体制整備



# 「認知症カフェ」一覧



## 徳島県内の認知症カフェ等の 設置状況について

	名称	開始年度	場所	住所	お問い合わせ先(電話番号)
1	ミックスカフェ	H25	個人宅	徳島市住吉6-1-25	認知症の人と家族の会 徳島県支部 088-678-8020
2	カフェテラス やまもも	H25	老人保健施設さくらの郷	徳島市下町本丁59-12	グループホームやまもも 088-644-1115
3	オレンジカフェ あい	H27	とみだの家	徳島市中昭和町2丁目103番地	とみだの家 088-662-2326
4	おきのすサロン	H25	NPO法人どりーまあサービス どりーむキッズ	徳島市北沖洲4丁目14番地38-101	夢ガーデン 088-678-8161
5	認知症の人と家族の会つどい		徳島県立総合福祉センター1階	徳島市中昭和町1-2	認知症の人と家族の会 徳島県支部 088-678-8020
6	すだちカフェ	H28	すだち会グループホーム	徳島市大原町余慶71番地2	すだち会グループホーム 088-663-5751
7	コミュニティカフェきらら苑	H28	デイサービスきらら苑	徳島市北山町岩崎11-3	きらら苑 088-669-3328
8	縁の会(若年性認知症)		徳島県立総合福祉センター1階	徳島市中昭和町1-2	認知症の人と家族の会 徳島県支部 088-678-8020
9	あいの会(本人交流会)	H29	渋野公民館 等	徳島市中昭和町1-2	認知症の人と家族の会 徳島県支部 088-678-8020
10	スマイルカフェ	H29	グループホームえくせれんと国府	徳島市国府町中493-1	グループホームえくせれんと国府 088-642-8693
11	オレンジカフェ 木津野	H27	コミュニティはうすTSUDOI	鳴門市木津野木津野字内田7-10	鳴門市オレンジカフェ連絡会 代表 太田 晴清 090-4780-2967
12	オレンジカフェ 岡崎	H27	みんなの家海辺	鳴門市撫養岡崎字 二等道路東94-6	鳴門市オレンジカフェ連絡会 代表 太田 晴清 090-4780-2967
13	オレンジカフェ 小桑島	H27	サロンバンダ	鳴門市撫養町小桑島字前浜23番地 (キョーエイ鳴門駅前店4階)	鳴門市オレンジカフェ連絡会 代表 太田 晴清 090-4780-2967
14	まごころカフェ ほのぼの	H30	グループホームほのぼの	鳴門市木津野町矢倉字五ノ越32-1	グループホームほのぼの 088-686-3113
15	まごころカフェ ひなたぼっこ	H30	グループホームひなたぼっこ	鳴門市木津野町矢倉字四ノ越3	グループホームひなたぼっこ 088-685-3605
16	オレンジカフェ小松島	H24	個人宅	小松島市芝生町字東居屋敷33番地の1	0885-32-5980
17	近里・ミニ・カフェ	H28	グループホーム小松島	小松島市田浦町字近里84番地の2	0885-33-1875
18	ミニカフェ・青空	H28	グループホーム青空	小松島市中田町字新開52番地	0885-35-1355
19	オレンジカフェひかり	H29	グループホームひかり	小松島市坂野町字榎のべ35番地	0885-38-1231
20	ほっと長生 オレンジカフェ	H27	特別養護老人ホーム ライフイン長生	阿南市長生町西方59	阿南西部高齢者お世話センター 0884-23-5046
21	羽那カフェ	H27	那賀川町老人福祉センター	阿南市那賀川町刈屋325番地2	阿南北部第1 高齢者お世話センター 0884-42-2900 北部第2 高齢者お世話センター 0884-44-6836
22	オレンジカフェ富岡	H27	富岡公民館	阿南市富岡町西池田135-1	阿南東部高齢者お世話センター 0884-22-4577
23	ほっこりカフェ	H28	地域密着型特別養護老人ホーム 双葉の丘	阿南市見能林町南林30-1	阿南中部高齢者お世話センター 0884-23-3728 地域密着型特別養護老人ホーム 双葉の丘 0884-23-2882
24	オレンジカフェ中野島	H29	中野島公民館	阿南市柳島町中川原10番地	阿南東部高齢者お世話センター 0884-22-4577
25	あすかオレンジカフェ	H29	グループホームあすか	阿南市羽ノ浦町宮倉原ノ内41	グループホームあすか 0884-44-6300
26	おれんじカフェ やまかわ	H27	小規模多機能型居宅介護事業所 アトレやまかわ	吉野川市山川町前川1149-1	0883-36-1666
27	オレンジカフェ水明荘	H27	特別養護老人ホーム水明荘	吉野川市川島町川島106	0883-25-2333
28	オレンジカフェ いこい	H27	グループホームよしの(白寿会)	阿波市吉野町柿原字二条146番地	グループホームよしの 088-696-5533
29	認知症予防サロン	H27	阿波市社会福祉協議会市場支所	阿波市市場町興崎字北分60	阿波市社会福祉協議会市場支所 0883-36-5511
30	ぽかりんカフェ	H27	レヴィタかつうら(地域活性化センター)	勝浦郡勝浦町大字生名字太田44番地1	社会福祉法人勝寿会 0885-42-3700
31	さなカフェタイム	H30	産直市&ギャラリーカフェ 佐那の里	佐那河内村下字高樋46番地1	088-679-2295(佐那の里) 088-679-3383(村包括)
32	おれんじはうす	H27	鈴江テナント内	石井町石井字城ノ内179-9	090-1006-9390(寒川)
33	ほっとカフェ 応援隊	H29	NPO法人生涯現役応援隊 プレイルーム	神山町鬼籠野字川東119	NPO法人生涯現役応援隊 088-676-0040
34	ハートフルカフェ	H27	ケアハウス聚楽	牟岐町大字川長字山戸45番地	0884-72-3636
35	えんじゅカフェ	H28	ケアハウスえんじゅ 地域交流スペース	松茂町広島字四番越5-1	ケアハウスえんじゅ 088-699-8388
36	はーとカフェ 吉野川荘	H28	特別養護老人ホーム吉野川荘 地域交流ホール	北島町中村字八丁野4-19	088-698-3249
37	癒しカフェ	H30	デイサービスセンター きたじま	北島町中村字中内26	グループホーム癒音 088-697-3788
38	喫茶「藍カフェ」	H27	福祉ホームリズム地域交流スペース	藍住町矢上字安任56-5	088-692-9955
39	喫茶「くんだらや」	H27	ケアハウス矢上	藍住町矢上字原127-2	088-693-3555
40	よりあい広場	H30	清水内科1階 相談室	藍住町奥野字和田71-13	清水内科居宅介護支援事業所 088-676-3800
41	なかよしミックスクラブ	H27	個人宅	三好市山城町上名327	0883-84-1710
42	ミックスカフェたんぼぼ	H29	個人宅	三好市池田町馬路安長11-2	0883-74-1647
43	オレンジカフェみよし	H29	三好市内集会所等 徳島県立三好病院	三好市内各所 三好市池田町シマ815-2	みよし地域包括支援センター 0883-72-5877
44	弥生カフェ	H30	小規模多機能型居宅介護事業所 弥生	三好市池田町津藤ノ井372-3	0883-72-0841
45	こもれびカフェ	H28	小規模多機能型居宅介護事業所 こもれび	つるぎ町半田字小野487番地6	0883-64-3255
46	さんカフェ	H28	ふれあい健康館	東みよし町屋間3700-1	東みよし町包括支援センター 0883-76-5580

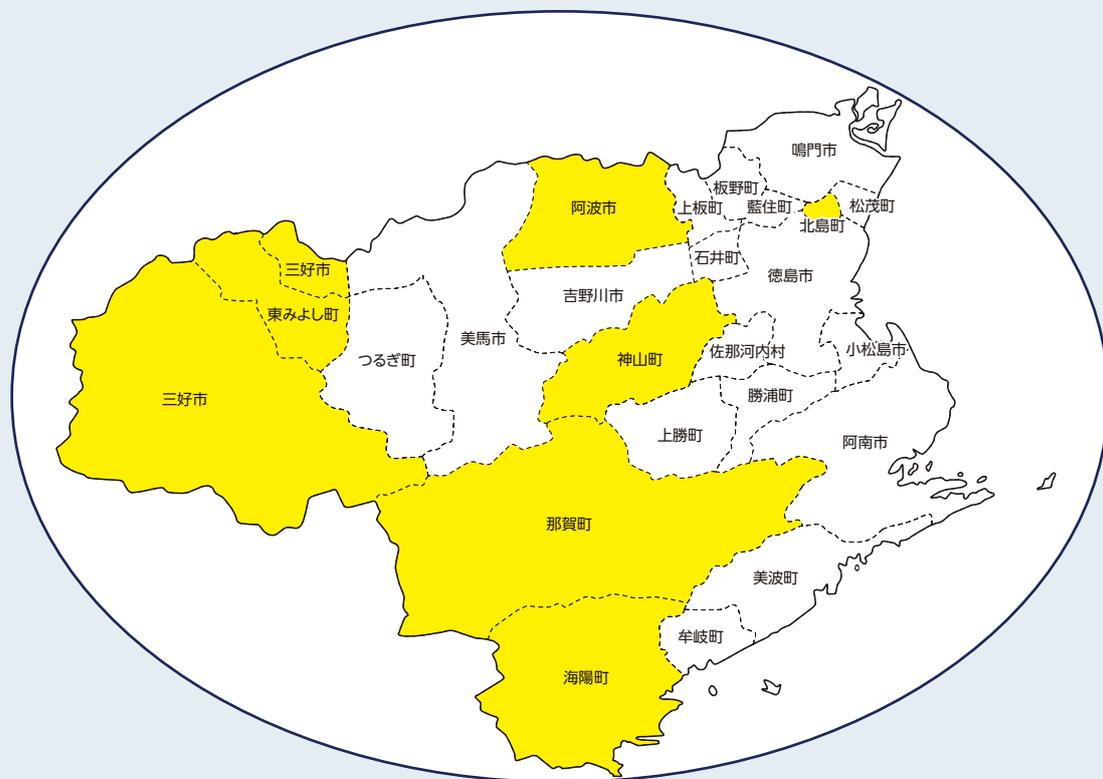
認知症カフェとは、認知症の人やその家族が、地域の人や専門職など情報を共有し、お互いを理解し合う場です。  
 認知症カフェに参加して、認知症の人ご本人やご家族、地域の人と出会い、一緒に過ごしてみませんか？



開催日	開催の主体等	参加費
毎週火曜日 14:00~16:00	公益社団法人認知症の人と家族の会 徳島県支部	無料
最終土曜日 14:00から	グループホームやまもも	無料
毎月第3金曜日 14:00~15:00	とみだの家 (地域密着型特別養護介護老人福祉施設)	無料
月2回 第2, 第4土曜 10:00~11:30	NPO法人どりーまあサービス	50円
毎月21日 13:00~15:00	認知症の人と家族の会徳島県支部	無料
毎月第2水曜日 13:30~15:30	すだち会グループホーム	無料
毎月第1土曜日、第2日曜日、第3水曜日 11:00~14:00	デイサービスきらら苑	500円
毎月第3土曜日13:30~15:30(変更の可能性あり)	公益社団法人認知症の人と家族の会 徳島県支部	無料
毎月1回程度日曜日 10:00~13:00 (変更の可能性あり)	公益社団法人認知症の人と家族の会 徳島県支部	100~300円
毎月第3金曜日 13:30~15:00	グループホームえくせれんと国府	無料
第2,3火曜日 第2,3金曜日 第2,4土曜日 10:00~12:00 第3月曜日 13:00~15:00	鳴門市オレンジカフェ連絡会	350~800円 日によって内容が異なるため、詳細はお問い合わせください。
月末月曜日 第1,2,4金曜日 10:00~12:00	鳴門市オレンジカフェ連絡会	300~500円 日によって内容が異なるため、詳細はお問い合わせください。
第2月曜日 10:00~12:00	鳴門市オレンジカフェ連絡会	絵手紙材料費等 300円
月1回 1,5,9月のいずれかの日曜日 13:30~15:30	グループホームほのぼの 088-686-3113	200円
月1回 3,7,11月のいずれかの日曜日 13:30~15:30	グループホームひなたぼっこ 088-685-3605	参加費無料 ※リース作り等、工作に参加する場合は材料費が必要(200~300円程度)
月1回 月曜日 10:00~12:30	公益社団法人認知症の人と家族の会徳島県支部	無料
第4水曜日 14:00~15:00	グループホーム小松島	無料
不定期(希望に応じて) 14:00~15:30	グループホーム青空	無料
第3土曜日 14:00~15:00	グループホームひかり	無料
偶数月第3水曜日固定開催 13:30~15:30	社会福祉法人青彩会 窓口は阿南西部高齢者お世話センター	無料
毎月第3火曜日固定開催(8月・3月を除く) 13:00~15:00 ※出前カフェ 不定期開催	羽那カフェ実行委員会 窓口は阿南北部第1高齢者お世話センター・北部第2高齢者お世話センター	100円
年2回 13:30~	阿南東部高齢者お世話センター	100円~200円
3ヶ月に1回開催 13:30~15:30	社会福祉法人双葉会 窓口は阿南中部高齢者お世話センター	無料
年3回 13:30~	阿南東部高齢者お世話センター	100円~200円
不定期年1回	グループホームあすか	無料(材料費のみ必要)
第2・第4日曜日 13:00~14:30	医療法人のぞみ アトレやまかわ	100円/回
毎月第3木曜日 14:00~16:00	社会福祉法人 健祥会 特別養護老人ホーム水明荘	無料
月2回 第2, 第4火曜日 10:00~11:30	グループホームよしの	無料
月1回 午前中	市場町ボランティア協会 ばたん部会	保険料と材料費で100円/回
月1回	社会福祉法人勝寿会 勝浦町包括支援センター、ボランティア	無料(百円で飲み物とおやつが注文可能)
月1回 13:30~15:00	産直市&ギャラリーカフェ佐那の里 佐那河内村地域包括支援センター	100円
月曜~金曜日 12:00~17:00	社会福祉法人 有誠福祉会	100円/月
月1回 13:30~15:30	NPO法人生涯現役応援隊	100円
月2回	社会福祉法人 若穂会	無料
毎月第3水曜日 13:30~15:00	社会福祉法人 友情会	無料
7月・11月・3月	特別養護老人ホーム 吉野川荘	無料
不定期 年2,3回	社会福祉法人 緑樹会 グループホーム癒音	無料(材料費のみ必要)
偶数月第3日曜14:00~15:00 奇数月第3火曜14:00~15:00	グループホーム親の家	無料
不定期	ケアハウス矢上	無料
奇数月第3土曜日 13:30~15:00	清水内科居宅介護支援事業所	無料
2ヶ月に1回 13:00~15:00 (内容により変更あり)	ボランティア 代表 平田 美代子	300円 おやつ代等
月1回 曜日は不定期	ボランティア 代表 中川 千代子	100円
月1回 14:00~16:00 (内容により変更あり)	みよし地域包括支援センター、徳島県立三好病院 共催	無料
不定期	小規模多機能ホーム 弥生	無料
毎月第3水曜日	社会福祉法人 清寿会	無料
毎月第2火曜日14時から	東みよし町包括支援センター	無料

# 徳島県 地域包括ケアシステムサポート事業 における取組紹介

「地域包括ケアシステム」の構築に向けての課題解決を図るため、選定地区  
に対しての取組支援を行うとともに、その成果について広く普及することで、  
「地域包括ケアシステム」の更なる推進に努めることを目的に、平成27年度  
から平成30年度まで実施しました。各地域における取組内容をご紹介します。



# 「海陽町らしい住民参加型地域包括ケアシステム」

海陽町

## ● 経緯・地域の課題

他の町より、速いスピードで高齢化が進み、支えられる側が増え、支える側が少なくなっている状況を受け、可能な限り住み慣れた海陽町で暮らしていくためにどうしていくのか、町の困りごとをみんなで考え、海陽町らしい「地域包括ケアシステムづくり」を検討するために、当事業の支援を受けた。

困りごと

- 人口減少
- 高齢化
- 働く場所が少ない…

こんな町にできたらいいね

- 高齢になっても安心・安全で過ごせる町づくり
- ボランティアの多い町づくり



## ● 取組の特徴・効果

支える側として、認知症サポーターの養成や介護保険事業者連絡協議会の設置、また、できる限り自立した生活が続けられるよう、「かいよう元気体操教室」、「男性限定の介護予防教室」、若い方への「認知症予防講演会」、「海陽町在宅医療介護連携マップの作成」等を実施。

これらの取組の効果として、徐々にではあるが、各世代で、みんなで考え、みんなで支え合っているという思いが浸透してきた。

“支える人”と“支えられる人”をゆるやかに紡ぐ、  
海陽町らしい住民参加型地域包括ケアシステムの実現

### 介護予防

- ・かいよう元気体操教室  
(いきいき百歳体操) 1回/週
- ・ベテランズクラブ  
(65歳以上の男性限定の体操教室)

### 在宅医療・介護連携の推進

- ・介護保険事業者連絡協議会  
介護保険事業所が医療との連携について課題共有  
⇒H29 医療機関とも連携
- ・介護職員研修会「チームケアについて」

### 生活支援体制整備事業

- ・協議体準備委員会の立ち上げ  
⇒H29年度 1層協議体立ち上げ  
⇒地域を指定し、モデル的に課題解決策を検討していく  
(課題) H26～H28 住民座談会により課題把握(社協)

### 地域ケア会議

- ・地域課題を考える会  
海南病院(看護師,PT,OT等),社協,町職員で、地域課題に向けて協議  
⇒H28～山間部の訪問診療

### 認知症になっても 住みつけられるまちづくり

- ・認知症サポーター養成講座の実施  
⇒こども世代、はたらく世代、おとしより世代に！
- ・認知症ケアパスの作成  
⇒認知症の当事者や家族を支えるための社会資源の整理

支える人

海陽町地域包括ケアシステム

支えられる人

## ● 今後の展望

今後さらに、高齢化が進み新たな課題も出てくると考えるが、海陽町の様々な地域、人々がこれまでに築いてきたものをつなぎ、「支えなければならない人がいるならば、可能なかぎり支えていく」との思いで、海陽町らしい住民参加型地域包括ケアシステムを築いていきたい。

# 「三好市のあたたかい地域づくり」

## 三好市（三好市社会福祉協議会）

### ● 経緯・地域の課題

三好市の高齢化は、今後更に進むことが想定されている。三好市は広域なエリアで形成されているが、このうち大部分が急峻な山地。高齢や認知症による運転免許の返納、腰痛・ひざ痛や下肢筋力低下等で歩行が不安定になると、買い物や通院などが困難な状況になり在宅生活の継続が難しくなる。特に山間地域のアクセスは距離的にも時間的にも負担が大きく、高齢者の社会的孤立予防に特別な配慮が必要である。

そんな中、生活支援サービスを確保し地域で継続できる取組を実施することが、現実的に地域包括ケアシステムを充実させることに繋がることから当事業の支援を受けた。



### ● 取組の特徴・効果

日常的で身近な生活課題について、地域での助け合い、支え合いによって対応できる「あたたかい地域づくり」を目指すため、市内64組織が設置されている地区住民福祉協議会（以下、地区住協）を中心に、ニーズにあった生活支援サービスの創造について共に考える研修会を開催した。

#### 三好市地区住民福祉協議会リーダー研修会（平成28・29年度）

「助け合い活動で暮らしやすいまちに！」講師 聖カタリナ大学 高杉 公人氏

○地域の活動実践報告 ○グループワークによる机上支援体験等



井川地域をモデル地区に指定し進めることで、ここで得た様々な課題解決の実体験を市内全域に広げ拡充した。井川地区は8つの生活圏域に地区住協が設置されており、住民自ら各種取組を平準化させるための交流研修を実施したり、総合事業を理解するための独自研修会を開催した。

また、高齢者の居場所づくり（サロン事業）や要援護者の見守り活動などを生活支援体制整備の一環として取り入れようと話し合いを進め、他の地域にない取組を進めた。



#### 井川地区住民福祉協議会先進地視察研修（平成29年度）

「訪問型・通所型サービスB」見学及び交流研修会

○事業立ち上げから実施内容 ○地域全体で高齢者を支える仕組みづくり

介護予防と生活支援体制整備を目的とした「平成30年度生活支援サポーター養成講座」では、368名の申込のうち、井川地区から92名が受講修了している。

井川黎明地区住協は行政や関係機関と勉強会を繰り返し実施し、地域内で検討を重ね、平成31年2月から通所型サービスBとなる「黎明健康サロン」を週1回実施している。現在、黎明地区住協の取組がモデルとなり、市内各地域でサービスB事業が立上げ準備を進めており、2019年度前期には訪問型1地区、通所型2地区がサービスB事業を開始する予定となった。こうして様々なことがきっかけとなり、少しずつ地域で「住民が主体となって行う支え合い、助け合いによる生活支援」が必要だと認識し、増えてくることで地域包括ケアシステムを充実させることに繋がっていく。

### ● 今後の展望

地域ニーズを継続して把握分析し、どのようなサポートが必要かを検討することで、地区住協を中心に高齢（要配慮）者台帳を活用したニーズに合った取組を進めていきたい。

#### ＜充実させていきたい取組＞

- (1) ふれあいいきいきサロンの充実及び小規模化（山間部の一部地域で実践されてきている。）
- (2) 老人クラブ「まかせて会員」と「生活支援サポーター」によるご近所ヘルパー活動
- (3) いきいきサロンを発展させたご近所デイサービス活動
- (4) 住民主体による移動サービスの検討・実施



# 「しあわせの阿波プロジェクト」

阿波市

## ● 経緯・地域の課題

生活支援体制整備事業を円滑に開始するために、第1層協議体の設置や生活支援コーディネーターの選定、人材の発掘を目的に、当事業の支援を受けることになりました。本市は、NPOなど多様なサービスが少なく老人クラブもクラブ員の減少がみられ、地域のつながりが希薄になってきていることが問題です。



## ● 取組の特徴・効果①

取組の効果として、関係機関への事業開始の周知や市職員への研修を実施したり、第1層協議体の設置と生活支援コーディネーターを配置し、スムーズな事業開始ができました。

### 【平成30年度の取組について】

#### 【作業部会】

月1回程度、関係機関が集まり作業部会を開き協議しながら事業を進めています。平成30年度は

- ①協力者の人材発掘
- ②元気高齢者の活躍の場をつくる
- ③虚弱高齢者の支援体制を整える

を目標に活動してきました。



#### 【阿波オープンガーデン】

活動資金を集めることと、事業の広報活動のためバザーを実施しました。幟を作成し、生活支援C Oのチラシを作成、配布しました。バザーの収益はその後の活動資金となりました。



#### 【小学生とお接待】

9番札所法輪寺で、サロン参加者と土成小学校児童がお接待を実施しました。法輪寺ご住職や、JA夢市場から支援いただき、お遍路さんとの交流もできました。



# 「しあわせの阿波プロジェクト」

阿波市

## ● 取組の特徴・効果②

### 【サロン活動発表会】

サロン参加者が、日頃の活動について発表しました。

リブドゥコーポレーションの協力で、サロンに対し参加賞として活動費を贈呈し、表彰を行い、サロン活動の気運を高めることができました。

ケーブルテレビで番組として放送し、その後2か所のサロンが新規開設となりました。



### 【あわ阿波踊り】

観光協会からの依頼もあり、ボランティア部会の方と綿菓子体験やくじ引きなど、子供向けのお店を出店しました。

ボランティアの方も阿波踊りに参加しながら、楽しんで協力してくれました。

### 【つきいちマルシェ】

毎月第2日曜日、安田歯科駐車場で行われている「つきいちマルシェ」も平成31年2月で1周年を迎えました。隣接する高齢者施設入所者も、お店の人や生活支援C o と会えるのを楽しみにしてくれています。



### 【JA夢市場ジェラート販売】

JA夢市場の店長さんより「高齢者にジェラート販売員をしてほしい」と依頼がありサロンを紹介しました。

サロンの活動費が得られ、お客さんとの交流にもなっております。



## ● 今後の展望

現在の事業を継続しながら、人材の発掘をしていきます。今後は高校生など若い力を巻き込んでいくことを考えています。

「ニーズを出して解決していく」そこからいくつかサービスを作り、包括的な枠組みを作っていくこと＝「阿波市スタイル」として実施していきます。

# 「地域包括ケアシステムの展開」

北島町

## ● 経緯・地域の課題

昨今の地域包括支援事業の取組等により、介護サービス事業所・医療関係機関等の連携は強化されてきたが、地域での助け合いにおいての住民と行政との協働、また住民の意識や理解度は十分ではない。

今後は、より広範囲での協力体制を構築し、町全体が一体となって、いつまでも安心して暮らせる地域づくりを目指す必要がある。



## ● 取組の特徴・効果

### ➡ 住民による「通いの場」が誕生!

仕事を退職した60代の女性達を中心となって発足させた、多世代交流型のごちゃまぜサロン「みんなのお家」。

高齢者や子育て中の親子が集いあう、ご近所型交流の場は地域の繋がり希薄さが深刻化している同町に新風の効果をもたらしている。



### ➡ ささえあい活動担い手の発掘と育成強化!

昨年度までは別々に管理していた有償と無償のささえあい活動を町で一本化し、社協とNPOが連携して運営していくシステムを新構築。

福祉ネットワーク北島と連携し、福祉職員を対象としたアンケートを実施。フォーマルサービスでカバーしきれていない地域の困りごとを拾いあげ、担い手として登録されている地域住民に繋げていく。住民に向けての継続したステップアップ講習やフォロー体制の強化に重点を置き取り組んでいる。

### ➡ 新たな多種職連携が動き始める!

住民の暮らしと密接に関わっているスーパー等の生活関連産業の方との意見交換会を開催。

ニーズや課題等について膝をつき合わせた話し合いを実践。地域まるごとの包括ケアシステムに向けての第一歩となる。



## ● 今後の展望

協議体メンバーが地域住民の代弁者となり、自分達が思い描く地域像に基づいた町づくりを主体的に行えるような協議体を再構築し、継続した後方支援に徹していけるよう努める。住民が主役となる地域包括ケアシステムに向けて心機一転!

# 「多職種研修事例検討会」

神山町

## ● 経緯・地域の課題

高齢化率が50%を超え、高齢者ひとり暮らし・高齢者のみの世帯が増加している。生産年齢人口が減少する中、担い手不足が今後ますます深刻な問題となることが考えられる。

介護が必要となる期間を少しでも短縮するためには、適切なタイミングで必要な医療・介護等のサービスを受け、治療やサービスの中断がないように支援を行い、急速な病状の悪化等を予防することが重要である。

また、サービスを利用する際は、本人の状態を見極め、利用者の持っている能力を維持しながら、可能な場合は機能向上を図り、住み慣れた自宅での生活を長く続けていく仕組みづくりが必要であることから、本事業を開催することとなった。



## ● 取組の特徴・効果

より効果的に事業を実施するためには名西郡医師会の協力が必須であるため事業趣旨を理解していただき、**石井町と合同で多職種研修事例検討会**を平成30年度に3回実施した。

(平成30年7月、11月、平成31年2月)

事例検討(グループワーク)を円滑に進めるためにファシリテーター役の力量が必要となるため、「徳島県地域包括ケアシステムサポート事業」で、ファシリテーターのフォローと事例検討の総括として、徳島市医師会常任理事豊田健二医師を派遣いただいたことで、多職種でのグループワークがスムーズに進行できた。事例を通じて、疾患の理解とアセスメント・観察ポイント等を学び、日頃の業務の中で多職種との連携を図ることが少しずつ広がってきているように思われる。

【参加者からの意見として】

- ・他の職種の意見やアプローチの方法等自分にはないものを知り今後活かしたいと思った。
- ・インフォーマルサービスの必要性を感じた。
- ・それぞれの職種の業務を知ることができた。… など、前向きな意見をたくさんいただき、回数を重ねるごとにそれぞれの専門職から活発な意見が出されていた。

多職種研修事例検討会の参加者同士の「顔の見える関係」など、医療・介護等の関係者のネットワークが広がりつつあるので、多職種が連携を図り、引き続き、医療・介護両面から重症化予防に努めていく必要がある。



## ● 今後の展望

平成30年度は、「徳島県地域包括ケアシステムサポート事業」でファシリテーターのフォローと事例検討の総括をいただく講師を派遣していただき、多職種研修事例検討会が円滑に運営することができた。

今後も引き続き、名西郡医師会・石井町とともに多職種研修事例検討会を実施し、石井町・神山町両町の医療・介護・福祉等に従事している多職種の理解や情報共有など連携が拡充し、必要なサービスを継続することで心身状態の急速な悪化を予防し、何らかの原因で未治療や治療中断、サービス未利用や利用中断している方の「助けてほしい」の声を拾い上げていくことができ、住民が望む場所で望む暮らしができる体制を構築していきたい。

# 「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」東みよし町の実現に向けて

## 東みよし町

### ● 経緯・地域の課題

高齢化率33.1%の県西部にある比較的小さな町である。地域住民は、穏やかな方が多く、一人一人の「地域のために」という意識は高いものの地域包括ケアシステムへのイメージがなかなか持てないという課題があった。

また、「何かをしてもらうこと」に慣れている方もおられるため、自分たちのために自分たちで何かに取り組もうと行動に移す時にどうすればよいのか分からない人が多いという課題もあり、東みよし町の地域包括ケアシステムをより具体的にイメージしていただけるよう、本事業を活用し、対象別に研修会や講演会を行った。



### ● 取組の特徴・効果

#### 第1回目「地域包括ケアシステムって」

徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域医療福祉学分野 教授 白山 靖彦 氏

行政職員や社会福祉協議会職員などを対象に、徳島大学・白山教授による研修会を実施しました。東みよし町の高齢化や人口推移などのデータを見て今後の展望予測なども聞き、危機感を感じた職員もいました。那賀町や阿波市などの先進地の取り組みを知り「東みよし町なら何ができる？これからどうするか？」といったことを行政と共に考える良い機会となりました。



#### 第2回目「地域包括ケアシステムをつくるために大切なことは～みんなでつくる東みよし町～」

講師:那賀町地域包括支援センター 主任介護専門員 湯浅 雅志 氏  
事例報告:特定非営利活動法人 どりーまあサービス 理事長 山口 浩志 氏  
事例報告:那賀町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 亀井 伸幸 氏



町内の方だけでなく、町外の専門職や関係機関、生活支援体制事業の第一層協議体メンバー候補者を対象に基調講演と事例発表をしていただきました。地域包括ケアシステムとは「自分の健康を維持し続けること」「自分ひとりでは出来ないことを手助けしてもらえること」であるという言葉を受け、理解しやすく共感を得られました。また、事例を通じて、小さな町でも課題に対して、ネガティブに捉えるのではなく、「どう楽しく解決していくか」という視点で取り組んでいくことの大切さを伝えていただきました。

#### 第3回目「地域包括ケアシステムについて～三好市医師会の取組～」

三好市医師会長 内田医院 内田 知行 氏

医療、介護の関係機関を対象に、三好市医師会の取組や開催してきた研修会の内容について丁寧に講演していただきました。医師会での意識も高く、医療との連携を今後も積極的に行っていくという意識が高まりました。



#### 第4回目「長寿社会のまちづくり～地域包括ケアで健幸に～」

徳島大学大学院医歯薬学研究部 地域医療福祉学分野 教授 白山 靖彦 氏

福祉大会の記念講演として、地域住民を対象に講演いただき、地域包括ケアシステムについて、地域住民の理解を深めることが出来ました。そして、住民の方からは「人とのつながり」を大切にしていきたいとの声も聞かれ、今後の活動への意識を高めることができました。

### ● 今後の展望

地域包括ケアシステムについての研修会や講演会を通じ、専門職や行政だけでなく、地域住民にも地域包括ケアシステムのイメージが少しずつでき始めている。

今後は、「人とのつながり」の大切さを感じ、「一人一人が何が出来るのか」考え、行動に移せるよう働きかけ、東みよし町の地域包括ケアシステムが動いていけるようにしていければと思う。「住み慣れた地域で暮らしていくために」みんなで住みやすい地域になるよう取り組んでいきたい。

# 「那賀ライフ・シフトカレッジ」

那賀町

## ● 経緯・地域の課題

山間過疎地域で広大な面積であるが大部分は森林で集落が点在しており、社会資源が少なく、少子高齢化により支援が必要な高齢者が増加し専門職だけでは支えていくことが困難になっている。

既に多くの地域住民が地域づくり等で活躍しているが、更なる人材発掘が必要である。



## ● 取組の特徴・効果

地域の人材をどのように発掘するか？個人主義などにより多様な生活スタイルで地域に関心の少ない住民も少なくない。そうした住民が地域に関心を持っていただくにはどうすればよいか考察した。

人生100年時代の到来により、100歳までに必要な知識を学び、学習意欲の高い高齢者に継続した学びの機会を構築することにより、学んだことを他の高齢者に伝達したくなるのではと考え、そうならば自主的なリーダーが育成されるのではと考えた。

高齢者自ら参加したくなるような研修になるように、内容については、高齢者約50名程度に学びたい項目を調査し、上位7項目に

「人生100年時代のライフスタイルについて」の項目を加え、全8回、毎月研修会を実施した。

全戸にチラシを配布し、60・70代を対象に受講生を募集した結果、19名の申込みがあった。

多くの受講生が積極的に参加し、学んだことを家族や友人に伝えており、自分に役立つ新しい知識は他者と共有したくなるのが分かった。

19名中8名が全課程を修了し、10名が7割以上受講できたので18名に修了証を授与した。



	テーマ
第1回	人生100年時代のライフシフト
第2回	長生きの秘訣
第3回	退職金・年金で 実りある100年時代を乗り切るには
第4回	生きているうちにやっておくべきこと
第5回	健康寿命を伸ばして生涯現役①(運動)
第6回	健康寿命を伸ばして生涯現役②(栄養)
第7回	明日は我が身の認知症
第8回	これからの心の健康について／閉校式



## ● 今後の展望

社会資源の減少が考えられる地域なので、より多くの住民が主体的になれるように、今後も人生100年時代に必要な知識を学ぶ機会を提供し、地域住民と専門職が共に地域づくりを行える事業を行っていきたい。

## **「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて 2018**

2019年3月発行

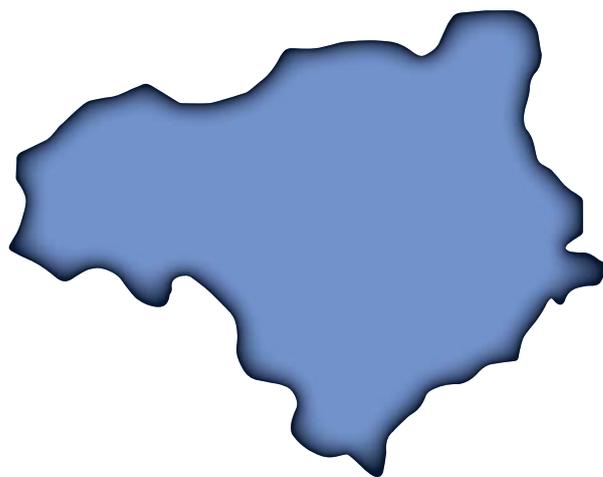
編集・発行 徳島県保健福祉部長寿いきがい課いきがい・活躍推進室

〒770-8570

徳島市万代町1丁目1番地

電話 088-621-2202 ファクシミリ 088-621-2840





**徳島県**